

③本坊（観蔵院）地区取扱方針

現在、本坊として使用されている旧中院、旧観蔵院の敷地である。現在の本坊は、中世の子院跡を複数併合したものと考えられる。敷地内には、旧中院の書院、持仏堂、旧観蔵院の庫裏がある。また本坊大玄関は、近世の建物が明治期に大がかりに改修されてできたものである。これらは旧子院の遺構と言える。築地塀に囲まれた当該敷地は、中世から継承された一山寺院としての景観的特徴の一環をなしている。一方で寺務所が置かれ、展示施設である宝物庫、公開を行っている庭園や持仏堂、奥殿、倉庫が置かれており、宗教法人の運営機能や常時管理を必要とする物件が集中している地区でもある。当該地区には、用途が定まっていない敷地も多く、今後新たな土地利用が見込まれるものの、地下には子院の遺構が広がっていることが、発掘調査の成果や小字図から明らかである。このため当該地区では、旧中院と旧観蔵院の敷地内に第Ⅰ種保存管理区域を置き、現状保存の対象とし、そのほかは地下遺構の保存が適切に行われるように留意しつつ、必要に応じて宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な現状変更をみとめる。

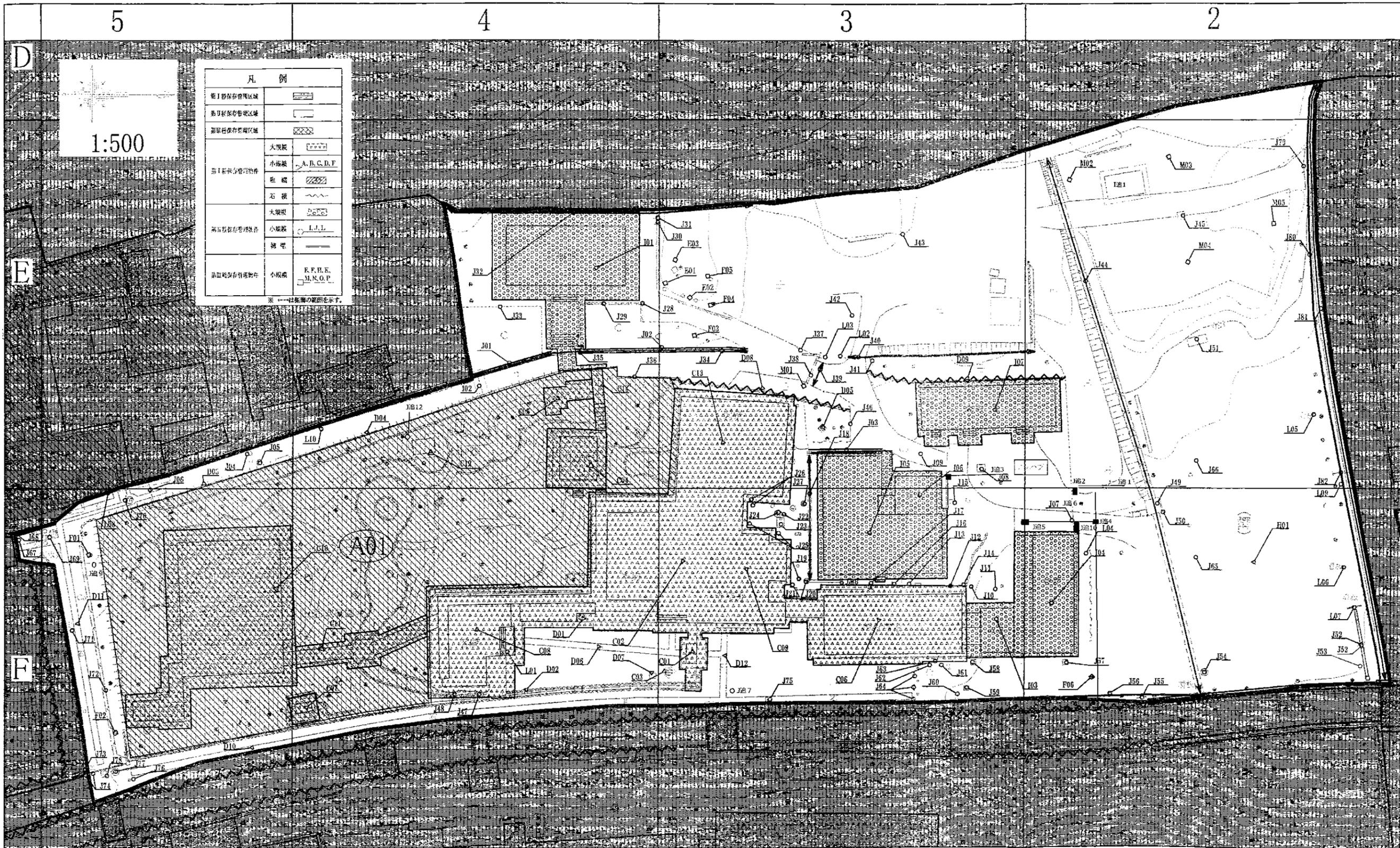
第14表 本坊（観蔵院）地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理区域及び物件	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合はみとめる。 特に、史跡管理のための現状変更については柔軟に対応するが、文化財としての価値が失われることのないように留意すること。 また、現状変更の際には、地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。なお、今後発生する史跡金剛寺境内の保存管理に必要な物件は、できる限りこの地区に集約させる。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	新設は、原則的にみとめない。ただし、宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。
木竹の植樹・伐採等	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。
道路の新設・改良	新設は史跡整備を目的としたもの以外は、原則的にみとめない。地形の変更がともなう改良もみとめない。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。

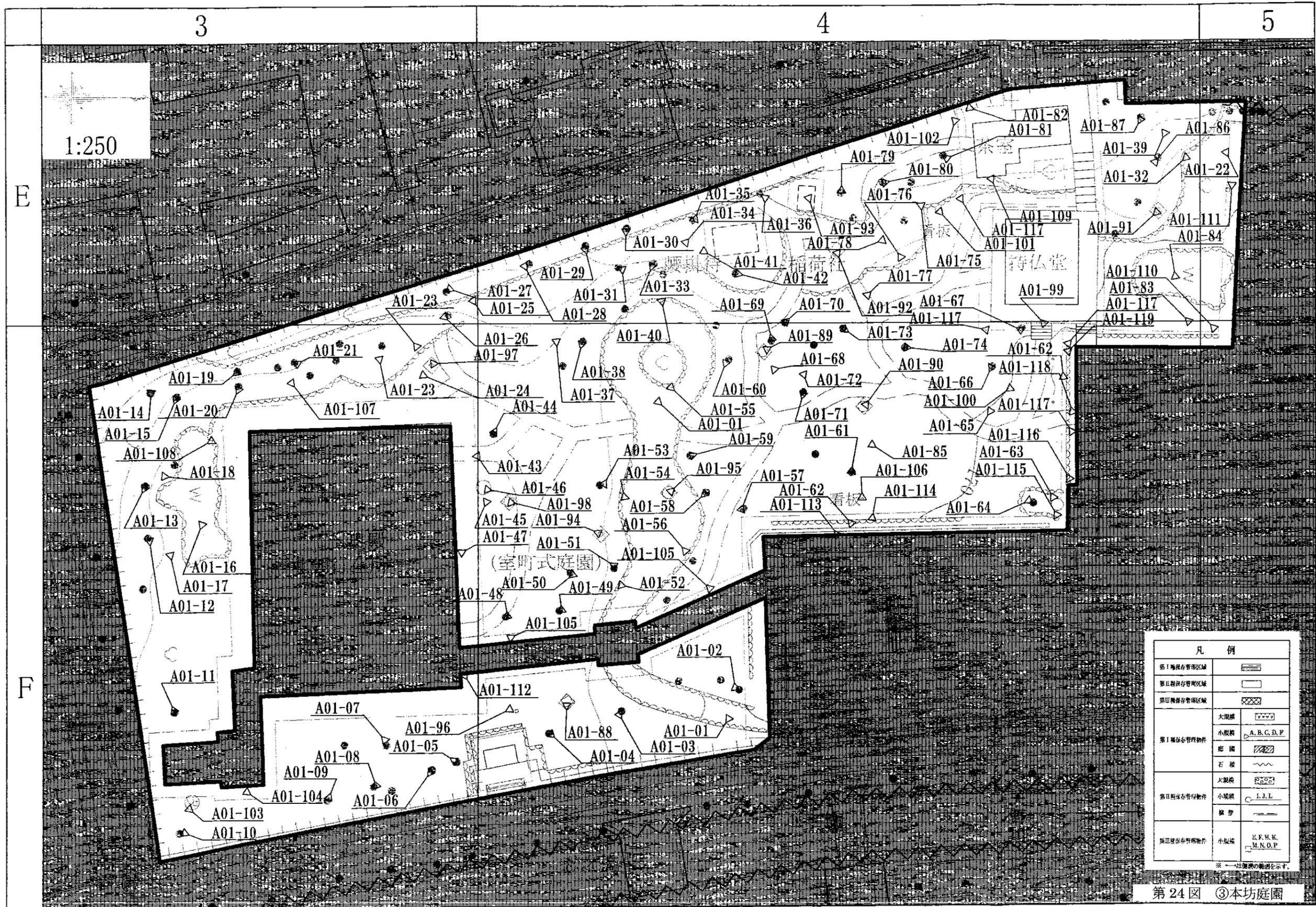
<p>その他、構造物の設置・改修・撤去</p>	<p>原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合はみとめる。</p> <p>特に、史跡管理のための現状変更については柔軟に対応するが、文化財としての価値が失われることのないように留意すること。</p> <p>また、現状変更の際には、地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。</p>	<p>同上</p>
<p>指定文化財の保存修理</p>	<p>史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に対しては保存の措置をとる。</p>	<p>該当なし。</p>
<p>建造物内部の維持管理上必要な修理等</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。ただし指定文化財においては、関係法令においてその定められた範囲内においてみとめる。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。</p>
<p>防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）</p>	<p>防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。</p>
<p>防災対策（地震・火災）</p>	<p>防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。</p>

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I a	C	01	金剛寺本坊表門	天野町996番地	木造、瓦葺、間口2.6m	明治後期	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金剛寺本坊の門、切妻瓦葺 国登録文化財：H29.6.28	F3	○		
I b	C	02	金剛寺本坊客殿	天野町996番地	木造平屋建、瓦葺、建築面積83㎡	江戸中期	—	昭和57年から昭和58年に 大規模改築	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	庭園北側、切妻本瓦葺 国登録文化財：H29.6.28	F3	○		軽微な修理が必要 屋根は維持保全のための修理 が必要
I a	C	03	井戸上屋	天野町996番地	—	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	方丈内井戸上屋	F3			
I a	C	04	金剛寺本坊持仏堂	天野町996番地	木造平屋建、銅板葺、建築面積29㎡	江戸中期	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	本坊西側、宝形銅板葺 国登録文化財：H29.6.28	E4	○		躯体経過観察が必要 屋根は維持保全のための修理 が必要
I a	C	05	金剛寺本坊茶室	天野町996番地	木造平屋建、銅板葺、建築面積32㎡	明治44年	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	持仏堂西側の茶室 国登録文化財：H29.6.28	E4			躯体経過観察が必要 屋根は下地も含めた補修えが 必要
I a	C	06	本坊所化部屋	天野町997番地	19m×8m	江戸	—	昭和57年から昭和58年 (1982-1983)に大規模改築	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	本坊寺務所北側の所化部屋	F3			調査の上、修理の検討が必要 屋根は下地も含めた補修えが 必要
I a	C	07	門	天野町996番地	薬師門	江戸	—	周辺土塀修理時に修理	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	奥殿東側 切妻本瓦葺	F4	○		
I a	C	08	金剛寺本坊大玄関	天野町996番地	木造平屋建、瓦葺一部檜皮葺、建築面積122㎡	明治44年	—	令和2年から令和4年(2020-2022)に半解体修理	木造	金剛寺	金剛寺	金剛寺本坊南側大玄関、入母屋 本瓦葺、正面唐破風、国登録文化 財：H29.6.28	F4	○		
I b	C	09	本坊	天野町996番地	13m×13m	江戸	—	昭和57年から昭和58年(1982-1983)に大規模改築	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金剛寺本坊の寺務所 入母屋瓦葺	F3	○		躯体は軽微な修理が必要 屋根は維持保全のための修理 が必要
I a	D	01	燈籠	天野町996番地	H1.25m、0.45角	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	本坊南西	F4			
I a	D	02	土塀	天野町996番地	延長約50m	—	—	平成12年から平成19年 (2000-2007)緊急修復工事 (土塀が長雨の影響で倒壊 したため)	石	金剛寺	金剛寺	庭園東側 一部石積の基礎	F4	○		
I a	D	03	漆喰塀	天野町996番地	石垣下一瓦1.45m 高さ1.40m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	奥殿北側	E5	○		
I a	D	04	漆喰塀	天野町996番地	石垣下一瓦1.62m 高さ1.30m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	庭園西側	E4	○		
I a	D	05	燈籠	天野町996番地	幅0.45m 奥行0.45m 高さ1.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	客殿北側	E3			
I c	D	06	石畳	天野町996番地	幅0.8m	—	—	—	ミカゲ	金剛寺	金剛寺	客殿北側	E3			
I a	D	07	水鉢	天野町996番地	幅0.75m 奥行0.80m	—	—	—	木鉄	金剛寺	金剛寺	客殿北側	E3			
I b	C	10	金剛寺本坊奥殿	天野町996番地	木造平屋建、茅葺一部瓦葺、建築面積284㎡	大正	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	本坊庭園内、入母屋茅葺、北朝行 在所、登録文化財：H29.6.28	F5	○		
I b	C	11	金剛寺本坊渡廊下	天野町996番地	木造平屋檜皮葺一部茅葺	大正	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	客殿と奥殿をつなぐ廊下 切妻檜皮葺、休憩所、方形檜皮葺 休憩所2.7m×2.7m 国登録文化財：H29.6.28	F4			
I c	C	12	腰掛待	天野町996番地	3m×2m	昭和(戦前)	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	庭園内西側にある休憩所 方形銅板葺	E4			倒壊により滅失(平成27年)



第 23 图 ③本坊 (観藏院) 地区



第24図 ③本坊庭園

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I c	D	08	石積	天野町996番地	延長約25m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積 最大高さ2.0m	E3.F3			
I c	D	09	石積	天野町997番地	延長約27m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積 最大高さ1.0m	E2.E3			
II	C	13	客殿	天野町996番地	15m×13m	平成	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金剛寺本坊西側の客殿 切妻本瓦葺	E3			
II	C	14	渡廊下	天野町996番地	幅1.5m	昭和	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	持仏堂と宝物庫をつなぐ廊下	E4			
II	D	10	石畳	天野町995番地	幅1.0m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	境内の骨格を形成する歴史的な通路の舗石	F5			
II	D	11	石畳	天野町996番地	幅 0.8m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	境内の骨格を形成する歴史的な通路の舗石	F5			
II	D	12	石畳	天野町996番地	幅 0.86m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	寺務所前	F3			
II	I	01	宝物館	天野町1004番地	16.3m×8.0m	昭和	—	—	RC構造(1階建)	金剛寺	金剛寺	持仏堂西方の宝物殿 切妻瓦葺	E4			躯体経過観察が必要 屋根は経過観察が必要
II	I	02	門	里道	—	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	摩尼院と宝物庫の間の門 瓦葺	E4			
II	I	03	車庫	天野町997番地	4.5m×6m	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	所北部屋となりの車庫 瓦葺	F3			
II	I	04	倉庫 作業場	天野町997番地	—	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	北側駐車場南の建物 切妻瓦葺	F2			
II	I	05	寄宿舍	天野町997番地	—	—	—	—	木造(2階建)	金剛寺	金剛寺	所化部屋西側の建物 切妻瓦葺	F3			
II	I	06	車庫	天野町997番地	—	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	I323と運棟の車庫	E3			
II	I	07	土蔵・倉庫	天野町997番地	—	—	—	—	木造(2階建)	金剛寺	金剛寺	I323北面に建つ建物 蔵造り瓦葺	E3			
II	J	01	石垣	天野町1538番地	延長約11m、高さ1.0m	—	—	—	コンクリート・石	金剛寺	金剛寺	最大高さ1.0m	E4			
II	J	02	石垣	天野町997番地	延長約22m、高さ1.0m	—	—	—	コンクリート・石	金剛寺	金剛寺	最大高さ1.0m	E3.E4			
II	J	03	石垣	天野町997番地	延長約10m	—	—	—	コンクリート・石	金剛寺	金剛寺	最大高さ0.5m 上部木階	E3			
II	J	04	量水器	里道	幅 0.35m 周長 0.20m	—	—	—	プラスチック	金剛寺	金剛寺	摩尼院東側	E5			
II	J	05	マス(電気)	里道	φ 0.45m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	摩尼院東側	E5			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	06	門	里道	高さ 1.80m 幅 3.30m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	摩尼院裏側 木格子門	E5			
II	J	07	門扉	天野町997番地	高さ 1.57m 幅 4.60m	—	—	—	ステン	金剛寺	金剛寺	本坊北側門 両開き門扉	F2			
II	J	08	焼却炉	天野町997番地	幅 1.15m 奥行き 1.18m 高さ 1.30m	—	—	—	レンガ	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	E3			
II	J	09	斜路	天野町997番地	幅 2.70m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	E3			
II	J	10	会所	天野町997番地	幅0.41m、奥行き 0.41m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	11	会所	天野町997番地	幅 0.33m 奥行き 0.33m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 グレーチング付	F3			
II	J	12	会所	天野町997番地	幅1.21m、奥行き 0.40m、鉄板	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	13	会所	天野町997番地	幅 0.35m 奥行き 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	14	散水栓	天野町997番地	幅 0.20m 奥行き 0.18m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	15	会所	天野町997番地	幅0.50m、奥行き 0.50m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	16	浄化槽	天野町997番地	幅 1.50m 奥行き 0.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	17	マス	天野町997番地	φ 0.33m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	18	U字側溝	天野町996番地	幅 0.40m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 会所舎む	F3			
II	J	19	会所	天野町996番地	幅 0.34m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 6ヶ所	F3			
II	J	20	洗水マス	天野町996番地	φ 0.16m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	21	ハルブ	天野町996番地	φ 0.13m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	22	ハルブ	天野町996番地	φ 0.17m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 2ヶ所	F3			
II	J	23	足洗場	天野町996番地	幅 1.30m 周長 0.98m 高さ 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	24	井戸	天野町996番地	幅 1.00m 奥行き 1.00m 高さ 0.55m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	25	会所	天野町996番地	幅 0.35m 奥行き 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 2ヶ所	F3			
II	J	26	汚水マス	天野町996番地	φ 0.33m	—	—	—	ブラ	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内 2ヶ所	F3			
II	J	27	汚水マス	天野町996番地	φ 0.15m	—	—	—	ブラ	金剛寺	金剛寺	本坊作業ヤード内	F3			
II	J	28	会所	天野町1004番地	幅 0.30m、奥行き 0.30m、蓋なし	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	宝物庫北東	E4			
II	J	29	縁石	天野町1004番地	高さ 0.15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	宝物庫東	E4			経過観察が必要
II	J	30	引込柱	天野町1004番地	φ 0.11m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	宝物庫北西	E4			
II	J	31	電話柱	天野町1004番地	φ 0.14m	—	—	—	鉄	NTT	NTT	宝物庫北西 アミノ 77 R6 L1	E4			
II	J	32	U字側溝	天野町1004番地	幅 0.18m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	宝物庫西側	E4			
II	J	33	縁石	天野町1004番地	高さ 0.15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	宝物庫南東	E4			
II	J	34	U字側溝	天野町1547番地	幅 0.18m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	宝物庫北西 グレーチング付	E3			
II	J	35	水栓柱	里道	高さ 0.85m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	宝物庫東	E4			
II	J	36	木塀	天野町996番地	高さ 0.97m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	茶室北側	E4			
II	J	37	引込柱	里道	φ 0.11m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	客殿北西 ワイヤーサポート付	E3			
II	J	38	門扉	里道	幅 4.00m 幅3.94m 高さ 1.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	倉庫 西側	E3			
II	J	39	U字側溝	里道	幅0.3m×長さ3.98m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	客殿北西 グレーチング付	E3			
II	J	40	U字側溝	里道	幅 0.23m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	客殿北西 グレーチング付	E3			
II	J	41	電話柱	里道	φ 0.14m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	客殿北西	E3			
II	J	42	手洗場	天野町1000番地	0.7×0.7×62 手洗い場 160×60×30	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	客殿北西 水栓柱付	E3			
II	J	43	コンクリート舗床	天野町1000番地	φ 5.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		E3			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	44	水路	道	幅 0.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		E2			
II	J	45	マンホール	天野町1538番地	φ 0.63m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺		E2			
II	J	46	コンクリート塀	天野町997番地	高さ1.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	客殿北側	E3			
II	J	47	側溝	天野町996番地	幅 0.4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	客殿東側	E3			
II	J	48	パイプ	天野町996番地	幅 0.12m	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	客殿東側	E3			
II	J	49	水路会所	天野町1541番地	幅 2.00m 奥行き 2.10m 高さ 1.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	北側駐車場南西	F2			
II	J	50	鉄柵	天野町1541番地	高さ 1.40m 幅 1.88m、2枚L字	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場南西	F2			
II	J	51	井戸	天野町1538番地	φ 0.90m 高さ 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	北側駐車場西方 鉄製蓋付	E2			
II	J	52	3枚門扉	天野町1541番地	幅 6.30m 高さ 1.20m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	北側駐車場入口扉	F2			
II	J	53	敷石	天野町1541番地	幅 0.85m、奥行き6.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	北側駐車場出入口部舗装	F2			
II	J	54	電気マンホール	天野町1541番地	直径 0.74m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場東側	F2			
II	J	55	電柱	天野町997番地	φ 0.27m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	北側駐車場東側 アマノサン 75	F2			
II	J	56	消火栓	天野町1541番地	幅 0.45m 長さ 0.35m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場東側 大阪市水道局	F2			
II	J	57	会所	天野町1541地	幅0.70m、長さ0.70m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	北側駐車場南東	F2			
II	J	58	会所	天野町997番地	幅0.70m、長さ0.70m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	F3			
II	J	59	消火栓	天野町997番地	幅0.50m、長さ0.39m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	F3			
II	J	60	仕切弁	天野町997番地	φ 0.31m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	F3			
II	J	61	止水栓	天野町997番地	φ 0.28m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	F3			
II	J	62	止水栓	天野町997番地	φ 0.17m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	F3			

③本坊（親蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	63	量水器	天野町987番地	幅 0.50m 奥行き 0.33m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	恵の橋西詰	F3			
II	J	64	車止め	天野町987番地	高さ 0.70m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	恵の橋西詰	F3			
II	J	65	仕切弁	天野町1541番地	奥行き 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	場所不明 北側駐車場内	F2			
II	J	66	仕切弁	天野町1541番地	奥行き 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場内	E2			
II	J	67	引込柱	天野町1547番地	幅 0.10m 奥行き 0.10m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	北門北	F5			
II	J	68	境界石	天野町1547番地	幅 0.15m 奥行き 0.15m 高さ 0.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	北門北 摩尼院	F5			
II	J	69	マンホール群	天野町1547番地	奥行き 0.71mφ	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北門北 止水栓φ 0.09 消火栓0.46×0.35 仕 切弁φ 0.32制水弁φ 0.19 電気	F5			
II	J	70	マンホール(電気)	里道	φ 0.45m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北門北方	F5			
II	J	71	仕切弁	里道	φ 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路	F5			
II	J	72	L字側溝	天野町1547番地	幅 0.35m	—	—	—	コンブロック	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路	F5			
II	J	73	仕切弁	天野町1547番地	φ 0.32m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路	F5			
II	J	74	U字溝	天野町1547番地	幅 0.09m	—	—	—	コンブロック	金剛寺	金剛寺	庭園南側通路 会所付	F5			
II	J	75	消火栓	天野町1547番地	幅 0.46m 奥行き 0.35m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	壇之橋西詰	F3			
II	J	76	車止め	天野町1547番地	φ 0.09m 高さ 1.00m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	神之橋西詰 2ヶ所	F5			
II	J	77	マンホール	天野町1547番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	神之橋西詰	F5			
II	J	78	消火栓	天野町1547番地	幅 0.54m 奥行き 0.35m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	神之橋西詰	F5			
II	J	79	門扉	天野町1541番地	高さ1.10m、支柱2.22 m、門扉部分1.46m × 4.30m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	吉祥院南西方向 仮設門扉	E2			
II	J	80	木柵、鉄柵	天野町1541番地	高さ1.10m、高さ1.24 m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	吉祥院南西方向	E2			
II	J	81	U字溝	天野町1541番地	幅 0.60m	—	—	—	コンクリート、ブロック	金剛寺	金剛寺	吉祥院南側 道路側溝(南側)	E2			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	82	電柱	天野町1541番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	吉祥院南道路沿い シモザト1 アマノ 77 R6	E2			
II	L	01	標札	天野町996番地	—	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	香殿玄関前権札 A(右)裏「御座所 宝物庭園・拝観所」 B(左)裏「真言宗 大本山 天野山金剛寺」	F4		7-A,7-B	
II	L	02	石柱	天野町1004番地	幅 0.15m 周長 0.18m 高さ 0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	香殿北西方	E3			
II	L	03	石柱	天野町1004番地	幅 0.15m 周長 0.15m 高さ 0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	香殿北西方	E3			
II	L	04	境界石	天野町997番地	幅 0.12m、周長 0.12m、高さ0.23m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	北側駐車場南 大阪府	F2			
II	L	05	看板	天野町1541番地	幅 0.45m 高さ 2.00m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場北西 ゴミは各自でお持ち帰り下さい	E2			滅失
II	L	06	看板	天野町1541番地	幅 0.45m 高さ 1.50m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場北東 ゴミは各自でお持ち帰り下さい	F2			傾いている
II	L	07	看板	天野町1541番地	幅 1.82m 高さ 2.40m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場北東 駐車場案内板	F2			
II	L	08	看板	天野町1547番地	縦 0.30m 高さ 1.80m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	摩尼院裏側 重要文化財摩尼院書院	E5			
II	L	09	境界石	天野町1541番地	幅 0.12m 高さ 0.33m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院南道路沿い「大阪府」	E2			
II	L	10	境界石	里道	幅 0.15m 周長 0.15m 高さ 0.60m	—	—	—	石	摩尼院	摩尼院	摩尼院書院住宅裏「摩尼院境界」、裏「文部 省」	E4			
III	E	01	岩	天野町1004番地	幅 0.90m 周長 0.70m 高さ 0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	宝物庫北側	E3			
III	E	02	岩	天野町1004番地	幅 0.60m 奥行き 0.50m 高さ 1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	宝物庫北側	E3			
III	E	03	岩	天野町1004番地	幅 0.80m 奥行き 0.70m 高さ 1.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	宝物庫北側	E3			
III	F	01	サクラ	天野町1547番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	F5			
III	F	02	モミジ	天野町1547番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F5			
III	F	03	サクラ	天野町1000番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	E3			
III	F	04	サクラ	天野町1004番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	四本立	E3			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	05	サクラ	天野町1004番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		E3			
Ⅲ	F	06	サクラ	天野町1547番地	C-65	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	四本立	F2			
Ⅲ	H	01	駐車場	里道他	約1500㎡	—	—	—	土	金剛寺	金剛寺	北駐車場	F2			
Ⅲ	M	01	集石	天野町1547番地	幅 1.50m 奥行き 6.00m 高さ 0.50m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E3			滅失
Ⅲ	M	02	集石	天野町1538番地	幅 1.00m 奥行き 3.00m 高さ 1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E2			
Ⅲ	M	03	集石	天野町1538番地	幅 1.00m 奥行き 3.00m 高さ 1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E2			
Ⅲ	M	04	集石	天野町1538番地	幅 10.00m 奥行き 1.20m 高さ 0.70m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E2			
Ⅲ	M	05	集石	天野町1538番地	幅 4.00m 奥行き 8.00m 高さ 1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E2			
Ⅱ	J	追1	U字側溝	天野町1538番地	幅 4.00m 奥行き 8.00m 高さ 1.00m	R2.10	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E2			

③本坊（観藏院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	建造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01	庭園	天野町996番地	—	室町	—	—	—	金剛寺	金剛寺	金剛寺本坊庭園 (室町式)	F4.5			
Ic	A	01-01	川	天野町996番地	幅 1.9m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-02	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-03	モミジ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-04	モミジ	天野町996番地	C-38	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-05	モミジ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-06	モミジ	天野町996番地	C-18	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-07	マキ	天野町996番地	C-28	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-08	マツ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-09	チョウセンマキ	天野町996番地	C-28	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-10	マツ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-11	シダレザクラ	天野町996番地	C-40	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-12	マキ	天野町996番地	C-18	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-13	マキ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-14	ヒノキ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-15	マキ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-16	池	天野町996番地	幅 7.8m 奥行 3.0m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-17	巖石	天野町996番地	幅 0.4m 奥行 0.4m 高さ 0.2×25	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01-18	景石	天野町996番地	幅 0.45m 奥行き 0.5m 高さ 0.25×20	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-19	ヒノキ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-20	ヒノキ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-21	ヒノキ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-22	景石	天野町996番地	幅 0.6m 奥行き 1.3m 高さ 0.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-23	景石	天野町996番地	幅 0.4m 奥行き 0.6m 高さ 0.5m×3	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-24	手水鉢	天野町996番地	幅 1.0m 奥行き 0.6m 高さ 0.3m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-25	階段	天野町996番地	幅 0.4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-26	モミジ	天野町996番地	C-40	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-27	ヒノキ	天野町996番地	C-40	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-28	ヒノキ	天野町996番地	C-40	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-29	サクラ	天野町996番地	C-35	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-30	スギ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-31	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-32	手水鉢	天野町996番地	幅 0.6m 奥行き 0.6m 高さ 0.2m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-33	モミジ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-34	カシ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-35	モミジ	天野町996番地	C-28	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01-36	カン	天野町996番地	C-22	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-37	モミジ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-38	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-39	黒石	天野町996番地	幅 0.4m 奥行き 0.4m 高さ 0.4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	32ヶ				
Ic	A	01-40	黒石	天野町996番地	幅 1.8m 高さ 2.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-41	モミジ	天野町996番地	φ 0.15m 高さ 8.0m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-42	サルスベリ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-43	ツツノギ石	天野町996番地	幅 1.3m(1.1m) 奥行き 0.8m(0.5m) 高さ 0.8m(0.3m)	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	2箇所				
Ic	A	01-44	マキ	天野町996番地	C-35	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-45	水留	天野町996番地	H420×W65×D65cm	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-46	手水鉢	天野町996番地	H102×W90	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-47	善哉石	天野町996番地	幅 0.85m 奥行き 1.7m 高さ 0.3m	—	—	—	石・コンクリート	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-48	マキ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-49	モミジ	天野町996番地	C-28	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	2本立				
Ic	A	01-50	コウヤマキ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-51	サルスベリ2本立	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-52	黒石	天野町996番地	幅 0.3m 奥行き 0.1m 高さ 0.1m×15	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-53	コウヤマキ	天野町996番地	C-60	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01-54	累石	天野町996番地	幅 0.8m 奥行き 0.5m 高さ 0.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-55	花壇	天野町996番地	φ 2.8m 高さ 0.3m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-56	モミジ	天野町996番地	C-23	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-57	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-58	サルスベリ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-59	ホルトノキ	天野町996番地	C-60	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-60	マキ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-61	ゴヨウマン	天野町996番地	C-40	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-62	手水鉢	天野町996番地	幅 0.45m 奥行き 0.3m 高さ 1.1m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-63	手水鉢	天野町996番地	奥行き 0.75m 高さ 0.9m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-64	マキ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-65	累石	天野町996番地	幅 1.0m 奥行き 0.40m 高さ 0.6m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	10ヶ				
Ic	A	01-66	マキ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-67	ツバキ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	3本				
Ic	A	01-68	看板	天野町996番地	高さ 0.9m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	「灯笼」鎌倉時代				斜め傾き
Ic	A	01-69	モミジ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-70	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-71	モミジ	天野町996番地	C-20	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01-72	景石	天野町996番地	幅 1.0m 奥行き 0.7m 高さ 0.9m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-73	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-74	マキ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-75	石枯瀧	天野町996番地	幅 1.3m 高さ 1.9m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-76	景石群	天野町996番地	幅 0.4m 奥行き 0.5m 高さ 0.3m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	17ヶ				
Ic	A	01-77	階段	天野町996番地	幅 0.6m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-78	モクレン	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-79	コウヤマキ	天野町996番地	C-70	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-80	マキ	天野町996番地	C-28	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-81	モミジ	天野町996番地	C-25	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-82	手水鉢	天野町996番地	φ 0.6m 高さ 0.3m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-83	手水鉢	天野町996番地	幅 0.45m 奥行き 0.8m 高さ 0.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-84	池	天野町996番地	幅 5.6m 奥行き 3.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-85	景石	天野町996番地	幅 0.9m 奥行き 0.8m 高さ 0.3m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-86	モ子ノキ	天野町996番地	C-30	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
Ic	A	01-87	アラカシ	天野町996番地	奥行き 0.25m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	2本立				
Ic	A	01-88	石燈籠	天野町996番地	H1.80×W0.56m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	奥殿 北側	F4			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ic	A	01-89	石燈籠	天野町996番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	庭園内中央 鎌倉時代(案内板)	F4			
Ic	A	01-90	石燈籠	天野町996番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	庭園内中央	F4			
Ic	A	01-91	石燈籠	天野町996番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	持仏堂北側	E4			
Ic	A	01-92	石燈籠	天野町996番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	持仏堂南側	E4			
Ic	A	01-93	祠	天野町996番地	—	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	持仏堂南側	E4			
Ic	A	01-94	石燈籠	天野町996番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	奥殿 北側	F4			
Ic	A	01-95	石燈籠	天野町996番地	H1.45×W1.20m 池の中	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	奥殿 北側	F4			
Ic	A	01-96	石標	天野町996番地	H0.185×D0.15×H1.35m	大正15年(1923)9月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	北朝光厳天皇行在所 観蔵院 (左面)「赤布河盛安兵衛」 (右面)「大正十五年九月建之」	F4			
Ic	A	01-97	石燈籠	天野町996番地	H1.15×W0.43m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	奥殿 西側	F5			傾きあり
Ic	A	01-98	石燈籠	天野町996番地	H2.20×W0.73m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	奥殿 北側	F4			
II	A	01-99	階段	天野町996番地	幅 1.6m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-100	看板	天野町996番地	高さ 1.0m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	「亀島」				
II	A	01-101	看板	天野町996番地	高さ 1.0m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	「枯瀧」				
II	A	01-102	バルブ	天野町996番地	—	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	4ヶ				
II	A	01-103	井戸	天野町996番地	φ 1.35 高さ(地上) 0.55m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-104	会所	天野町996番地	幅 0.28m 奥行き 0.2m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-105	御溝	天野町996番地	奥行き 0.1m	—	—	—	石・コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-106	看板	天野町996番地	高さ 1.0m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	「鶴島」 五葉松樹齢六百年				
II	A	01-107	パイプ	天野町996番地	φ 0.02m	—	—	—	黒ホース	金剛寺	金剛寺					

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	A	01-108	パイプ	天野町996番地	幅 0m φ 0.15	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-109	階段	天野町996番地	幅 0.6m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-110	会所	天野町996番地	奥行き 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-111	沓脱石	天野町996番地	幅 0.5m 奥行き 1.2m 高さ 0.25m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-112	散水栓	天野町996番地	—	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-113	側溝	天野町996番地	幅 0.2m	—	—	—	石・コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-114	石盤	天野町996番地	幅 0.9m 高さ 0.4m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-115	会所	天野町996番地	奥行き 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-116	会所	天野町996番地	奥行き 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-117	会所	天野町996番地	奥行き 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	5ヶ所				
II	A	01-118	沓脱石	天野町996番地	幅 0.7m 奥行き 0.9m 高さ 0.35m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺					
II	A	01-119	看板	天野町996番地	高さ 1.0m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	「出船入船」				
II	I	追1	建物(消火ポンプ室)	天野町996番地	縦3.39×横5.26m	現代	管理用	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		E3			
II	J	追1	ワイトフェンス	天野町996番地	H1.84×W6.70m	現代	管理用	—	鉄	金剛寺	金剛寺		F2			
II	J	追2	門扉	天野町996番地	H1.50×W2.66m	現代	管理用	—	鉄	金剛寺	金剛寺		F2			
II	J	追3	側溝	天野町996番地	—	現代	管理用	—	石	金剛寺	金剛寺		E3			
II	J	追4	会所	天野町996番地	0.60×0.60m	現代	管理用	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		E3			

③本坊（観蔵院）地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	追5	御溝	天野町996番地		現代	管理用	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		F3			
II	J	追6	石置	天野町996番地		現代	管理用	—	石	金剛寺	金剛寺		F3			
II	J	追7	消火栓	天野町996番地	直径0.74m	現代	管理用	—	石	金剛寺	金剛寺		F3			
II	J	追8	会所	天野町996番地	0.45m角	現代	管理用	現状変更	コンクリート	金剛寺	金剛寺		F3			
II	J	追9	ポール	天野町996番地	直径0.16m	現代	管理用	—	鉄	金剛寺	金剛寺		F5			
II	J	追10	門	天野町996番地	高さ2.20m、門幅1.11m、屋根幅1.94m	現代	管理用	—	鉄	金剛寺	金剛寺		F5			
II	J	追11	手洗鉢	天野町996番地	W0.62 × D0.66 × H0.33m	現代	管理用	—	石	金剛寺	金剛寺		不明			
II	J	追12	階段	天野町996番地		現代	管理用	—	石	金剛寺	金剛寺		E4			

④史跡北部の子院遺構群地区取扱方針

史跡北部にある市道沿いの地区であり、地区内には重要文化財の総門が存在する。また、吉祥院の客殿、表門があり、多くの子院が失われた中であって現存する数少ない子院である。このほか店舗、公道が存在する。観光客・参拝者は、多くが自動車を利用して金剛寺を訪れており、駐車スペースへのアクセス機能の維持・管理を図る必要がある。また、地下には子院遺構が埋蔵されていることが古絵図や小字図、発掘調査の成果などから明らかとなっている。このため、当該地区は第Ⅰ種保存管理物件および地下遺構の保全を図りつつ、現状での機能を今後も継続的に果たせるように維持管理を行う必要があり、このための現状変更をみとめる。

第15表 史跡北部の子院遺構群地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理物件	第Ⅱ種保存管理区域 及び物件	第Ⅲ種保存管理 区域及び物件
建築物の新設・増 改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、 第10表に基き宗教活動や史跡 の維持・保存・管理・活用上、止 むを得ず、他に手段がない場 合はみとめる。 特に、史跡管理のための現状 変更については柔軟に対応す るが、文化財としての価値が失 われることのないように留意す ること。 また、現状変更の際には、地下 遺構・景観に影響のない範囲に 留める。	宗教活動や史跡の維 持・保存・管理・活 用に必要ない場合はみ とめる。この際、遺 構・景観に影響のな い範囲に留める。	必要な場合はみと める。この際、遺 構・景観への影響 を配慮すること。
上下水道・パイプ ライン・その他水路 等の新設・改修・ 撤去	該当なし。	同上	同上
木竹の植樹・伐採 等	該当なし。	同上	同上
道路の新設・改良	該当なし。	同上	同上

その他、建造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	同上	同上
指定文化財の保存修理	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に対しては保存の措置をとる。	該当なし。	該当なし。
建造物内部の維持管理上必要な修理等	必要な範囲内でみとめる。ただし指定文化財においては、関係法令においてその定められた範囲内においてみとめる。	必要な範囲内でみとめる。	必要な範囲内でみとめる。
防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。こと。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。こと。
防災対策（地震・火災）	防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。こと。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。こと。

④史跡北部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I a	B	01	金剛寺総門	天野町986番地	三間一戸八脚門 入母屋造、本瓦葺	江戸(元禄13年(1700))	—	平成14年(2002)屋根葺替・部分修理(左官)	木造	金剛寺	金剛寺	金剛寺北東側の門 府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財・重文 R112.27	G1	○		調査の上で修理が必要
I a	C	01	吉祥院客殿	天野町969番地	切妻造、棧瓦葺	江戸	—	昭和50年修理	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	金剛寺子院 吉祥院、地区北西端	E1	○		壁の欠損、調査の上で修理が必要。屋根は維持保全のための修理が必要。
I a	C	02	吉祥院表門	天野町969番地	一問薬師門、切妻造、本瓦葺	江戸	—	不明	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	吉祥院正面の門	E1	○		扉板の欠損根本修理が必要。
I a	D	01	石標	天野町986番地	幅=0.31m 奥行き=0.31m 高さ=1.95m	安政4巳年(1857)3月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	総橋西詰 〔右蔵井運墓ヨリ四里(右面)東 榎尾山道程是ヨリ七十二丁(左面)西 安政四丁巳年三月〕	F1			
I a	D	02	石積	天野町986番地	延長約34m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ1.5m(電中崩し)	G1H1			10m、やや前方へはらみあり
I a	D	03	漆喰塀	天野町969番地	高さ1.75m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	吉祥院 西側	E1\F1	○		石積み軽微な修理が必要
I a	D	04	漆喰塀	天野町969番地	高さ1.50m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E2	○		門の障の漆喰剥がれ
I a	D	05	漆喰塀	天野町969番地	高さ1.50m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E2	○		
I a	D	06	土塀	天野町435番地	高さ2.80m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	総門横通用門の塀、下部石積	G1	○		
I a	D	07	土塀	天野町986番地	高さ2.20m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	総門脇の塀、下部石積	G1	○		門西側の塀の漆喰剥がれ
I c	D	08	手洗鉢	天野町969番地	幅 0.55m 奥行き 0.45m 高さ 0.45m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	吉祥院 敷地内	E1			
I c	D	09	手洗鉢	天野町969番地	幅 1.50m 奥行き 0.65m 高さ 0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	吉祥院 敷地内	E1			
I c	D	10	燈籠	天野町969番地	幅 0.50m 奥行き 0.5m 高さ 1.5m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	吉祥院 敷地内	E1			
II a	D	11	石積	天野町986番地	延長約12m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	切石積 最大高さ2.5m	G1			
II a	D	12	石積	天野町986番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	総門西側	G1			
I b	C	01	門	天野町986番地	5.4m×2.2m	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	総門横通用門 切妻本瓦葺	G1	○		
I b	C	02	門	天野町969番地	門口 一間	—	—	—	木造	金剛寺	金剛寺	吉祥院 勝手口 銅板葺	E2	○		

④史跡北部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
IIb	I	03	蔵	天野町969番地	4.3m×3.5m	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	吉祥院 北西側	E1			漆喰剥がれ、基礎部分の土壁の崩壊 根本修理が必要
IIa	J	01	橋・標識	天野町1546番地	幅 11.0m 奥行き 6.10m	—	—	—	アスファルト	金剛寺	金剛寺	天野川架殿総橋の標識 右側「総橋」 左側「昭和四十二年三月架設」	F1		8	
IIa	J	02	伸縮門扉	天野町969番地	幅 4.05m 高さ 1.23m	—	—	—	アルミ	金剛寺	金剛寺	吉祥院南西	E2			
IIa	J	03	引込柱 電気	天野町969番地	φ 0.09m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	吉祥院南西 街灯付	E2			
IIa	J	04	井戸	天野町969番地	幅 0.84m 周長 0.84m 高さ 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院南西 ポンプ付	E1			
IIa	J	05	U字側溝	天野町969番地	幅 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院 建物南側 会所1口付	E1			
IIa	J	06	タメ水石	天野町969番地	幅 1.10m 周長 0.88m 高さ 0.50m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院 西側 洗い出し	E1			
IIa	J	07	井戸	天野町969番地	φ 1.04m 高さ 0.70m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院 西側	E1			
IIa	J	08	雨水マス	天野町969番地	φ 0.33m	—	—	—	プラスチック	金剛寺	金剛寺	吉祥院 西側 3ヶ所	E1			
IIa	J	09	水柱柱	天野町969番地	高さ 0.40m	—	—	—	埴埴	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E1			
IIa	J	10	会所	天野町969番地	幅 0.34m 奥行き 0.34m 高さ 0.40m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E1			蓋の割れあり
IIa	J	11	水柱柱	天野町969番地	高さ 0.40m	—	—	—	埴埴	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E1			滅失
IIa	J	12	通路	天野町969番地	幅 1.60m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南側	E1			
IIa	J	13	水柱柱	天野町969番地	高さ 0.55m	—	—	—	埴埴	金剛寺	金剛寺	吉祥院 北西側	E1			
IIa	J	14	会所	天野町969番地	幅 0.28m 奥行き 0.28m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院 北西側	E1			
IIa	J	15	散水栓	天野町969番地	幅 0.20m 奥行き 0.13m	—	—	—	ブラ	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南西側	E1			
IIa	J	16	止水栓量水器	天野町969番地	φ 0.17m 幅 0.3m 奥行き 0.2m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	吉祥院 南西側	E2			
IIa	J	17	電柱	天野町1010-3番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	NTT	NTT	グラウンド北東道路に 立つ電柱 アマノサン 74 E1	G2			
IIa	J	18	電柱	天野町968番地	φ 0.30m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	惣門西方交差点付近 アマノサン 74 E1、アマ ノ 77 R4D	G1			

④史跡北部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
IIa	J	19	マンホール	天野町1545番地	φ 0.75m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	総門西方交差点付近	GI			
IIa	J	20	鉄柱	天野町1545番地	幅 0.05m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	総門西方交差点付近	GI			鉄柱部き損、基礎のみ
IIa	J	21	電柱	天野町1545番地	φ 0.30m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	総橋東詰 アマノサン 74GI、アマノ 77 R6	F1			
IIa	J	22	電柱	天野町1538番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	吉祥院南西方向 シモザト 66M13、アマノ 77 R7	E2			
IIa	J	23	U字溝	天野町986番地	幅 0.25m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	吉祥院南道路側溝(北側)	E2			
IIa	J	24	カーブミラー	天野町 番地	φ 0.07m	—	—	—	鉄	河内長野市	河内長野市	総門東 河内長野市2-347	GI			
IIa	J	25	U字溝	天野町986番地	幅 0.23m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	総門西	GI			
IIa	J	26	柵	天野町986番地	高さ 1.00m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	総門西	GI			消失
IIa	J	27	車止め	天野町986番地	φ 0.12m 高さ 0.75m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	総門北通用口、4か所	GI			
IIa	J	28	電柱	天野町435番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	総門北	GI			
IIa	J	29	水栓	天野町986番地	高さ 0.80m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	総門北	GI			折れている、破損
IIa	J	30	木柵	天野町986番地	高さ 1.00m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	総門東	GI			消失
IIa	J	31	石敷縁石	天野町986番地	幅 0.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	総門東	GI			
IIa	J	32	境界石	天野町986番地	幅 0.12m 高さ 0.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	総門東 「大阪府」	GI			
IIa	J	33	擁壁	天野町1546番地	延長約62m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ2.5m	F1,F2			
IIa	K	01	道路	天野町 番地	幅 約6m	—	—	—	アスファルト	河内長野市	河内長野市	河内長野市道	F1,F2,E2			
IIa	K	02	道路	天野町1010-3番地	幅 3.25m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	国道と総橋門前橋をつなぐ 道路	GI			
IIa	L	01	樺石	天野町986番地	幅 0.42m 奥行き 0.33m 高さ 1.25m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	総門前の樺石 表「下集」	GI			
IIa	L	02	史跡標識板	天野町986番地	屋根付標識板 基礎石 幅 1.40m、 奥行き 高さ 2.60m	—	—	—	本体-木 基礎-石	金剛寺	金剛寺	総門前史跡標識板(高札) 史蹟 金剛寺境内の説明 板	GI			

④史跡北部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況	
IIa	L	03	看板	天野町435番地	幅 1.85m 高さ 2.20m	—	—	—	木、鉄	金剛寺	金剛寺	総門北 駐車場案内板	G1				
IIa	L	04	看板	天野町986番地	—	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		H1			滅失	
III	L	05	看板	天野町986番地	幅 0.65m 周長 0.18m 高さ 0.900m	—	—	—	コンクリート	河内長野市	河内長野市	総門西 行弁案内板(テ ルート)	G1				
III	F	01	サクラ	天野町1545番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F1				
III	F	02	サクラ	天野町1545番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G1				
III	F	03	サクラ	天野町986番地	C-45	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G1				
III	F	04	サクラ	天野町986番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	G1				
III	F	05	モミジ	天野町986番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G1				
III	F	06	イチョウ	天野町986番地	—	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G1				
III	F	07	イチョウ	天野町986番地	—	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	五本	G1,H1				
III	M	01	集石	天野町969番地	幅 2.90m 奥行き 2.50m 高さ 0.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺		E1				
III	N	01	多目的休憩所	天野町973番地3	面積58.06㎡	令和3年3月31 日完成	—	—	木造1階建	金剛寺	金剛寺	総門北東	F1			monzenとして活用	
IIa	A	追1	多目的広場			平成20年完成	—	—	アスファルト	金剛寺	金剛寺						

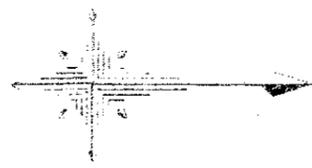
⑤天野川東岸の子院遺構群地区取扱方針

天野川とその東岸にある子院の遺構群を包括する地区である。地区内には重要文化財の旧理趣院表門や旧真福院表門が存在し、天野川にかかる橋と土塀に囲まれた区画等の一部が子院を示す構造物として残されている。旧子院の敷地内には、近世の建築物として金剛寺無量寿院・籠堂が存在し、このほかに近代和風建築である金剛寺大講堂（修養館）・金剛寺大講堂食堂がある。一方で、宗教活動のために建築された現代の建築物、構造物、現在は使われてない天野山会館も存在している。天野川に沿って見られる築地塀と橋は、中世から継承された一山寺院の景観を色濃く残しており、発掘調査成果や小字図から、地下に子院遺構が広がっていることが想定される。当該地区は、地区全体をⅡ種保存管理区域とし、地下遺構の保全に留意しつつ、宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な現状変更をみとめる。天野川沿いの景観は、保存の対象とし、できる限り現状での景観維持に努める。

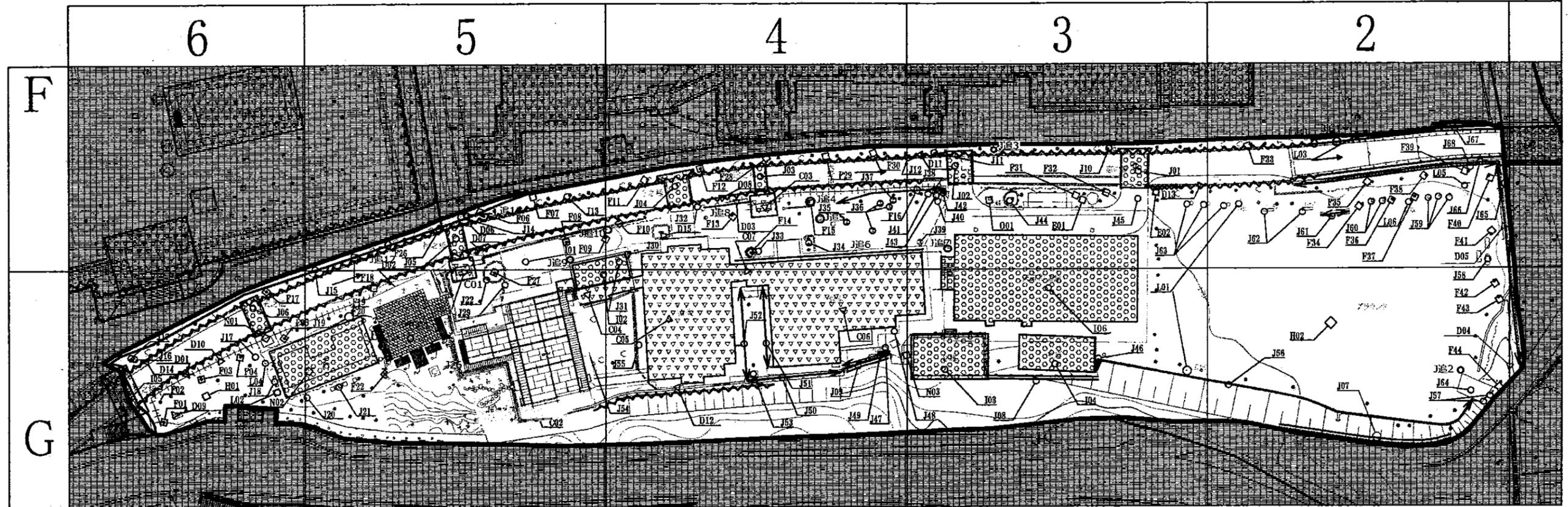
第16表 天野川東岸の子院遺構群地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理物件	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	該当なし。	同上
木竹の植樹・伐採等	該当なし。	同上
道路の新設・改良	該当なし。	同上
その他、構造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	同上

<p>建造物内部の維持管理上必要な修理等</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。ただし指定文化財においては、関係法令においてその定められた範囲内においてみとめる。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。</p>
<p>防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）</p>	<p>防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。</p>
<p>防災対策（地震・火災）</p>	<p>防災上必要な範囲内でみとめる。ただし、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。</p>	<p>必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。</p>



1:700



※ ←は掘溝の範囲を示す。

凡 例	
第I種保存管理区域	
第II種保存管理区域	
第III種保存管理区域	
第I種保存管理物件	大規模
	小規模 A, B, C, D, F
	庭園
	石積
第II種保存管理物件	大規模
	小規模 I, J, L
	擁壁
第III種保存管理物件	小規模 E, F, H, K, M, N, O, P

※ ←は掘溝の範囲を示す。

第26図 ⑤天野川東岸の子院遺構群地区

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ia	A.	07	天野川	—	約2000㎡ (延長約200m)	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	金剛寺中心部を南北に 縦断している市管理曹 河川。河川沿いはサクラ、モミ ジを中心に良好な景観 となる緑地空間を形成 している。	G5,G6 F2,F3,F4,F5	○		
Ia	B	01	金剛寺旧理趣院門	天野町1008番地	一間薬師門、切妻 造、木瓦葺、北袖 枡附、棧瓦葺	江戸	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 禅之橋渡 り正面 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	F5	○		屋根、躯体ともに経過 観察が必要
Ia	C	02	金剛寺無量壽院・簡 堂	天野町1539番地	木造平屋建、瓦 葺、建築面積 234㎡	江戸	—	令和元年から 令和3年(2019- 2021)修理およ び調査	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	講堂南側 入母屋本瓦造 (一部唐破風) 国登録文 化財:H29.6.28	G5	○		調査の上、修理が必要 屋根は下地も含めた福 替えが必要
Ia	B	03	金剛寺旧真福院表 門	天野町992番地	一間薬師門、切妻 造、木瓦葺、南北 枡附、棧瓦葺	江戸	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	進之橋東詰 国指定有形文化財:重 文 R1.12.27	F4	○		虫害あり 躯体は調査の上、修理 が必要 屋根は下地も含めた福 替えが必要
Ia	D	01	金剛寺天野川東岸 旧子院築地塀	天野町1008,1009-3 番地	土塀、瓦葺、総延 長103m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	天野川 右岸側 下部 石垣(トイレ前) 国登録文化財: H29.6.28	G5	○		下部漆喰の剥離
Ia	D	02	金剛寺天野川東岸 旧子院築地塀	天野町1008番地	高さ1.80m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	天野川 右岸側 下部 石垣 水子地蔵前 国登録文化:H29.6.28	G5	○		漆喰剥離
Ia	D	03	金剛寺天野川東岸 旧子院築地塀	天野町992番地	高さ1.65m	江戸	—	令和3年(2021) 2月修理	漆喰	金剛寺	金剛寺	天野川 右岸側 下部 石垣 食堂前国登録文 化財:H29.6.28	F4	○		薬師門南側の土塀の 一部崩壊 門より北側は修理
Ia	D	04	金剛寺天野川東岸 旧子院築地塀	天野町988番地	高さ1.50m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	グラウンド北真副国登 録文化財:H29.6.28	G1	○		破損状況が著しい
Ia	D	05	土塀	天野町1543番地	高さ1.70m	江戸	—	—	漆喰	金剛寺	金剛寺	グラウンド北西側	F2	○		瓦崩壊、漆喰剥離
Ia	D	06	石積	天野町1547番地	延長約73m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ2.0m	F4,F5,G5,G6	○		
Ia	D	07	石積	天野町1008番地	延長約55m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ2.0m	F5,G5,G6	○		経過観察が必要
Ia	D	08	石積	天野町1539番地	延長約45m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ2.0m	F4,F3	○		

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況	
I b	C	04	廊下	天野町983番地	12m×2.5m	昭和(戦前)	講堂建築にともなって付設	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	講堂と無量寿院をつなぐ渡り廊下	G5			当該廊下と1-01をつなぐ廊下の漆喰剥離	
I b	C	05	金剛寺大講堂(修養館)	天野町982番地	本造平屋建、瓦葺、建築面積306㎡	昭和17年(1942)5月25日	—	—	木造	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 忍之橋付近 残瓦葺寄棟屋根で瓦葺寄棟造であり、周囲に瓦葺下屋庇を付し、正面には切妻屋根で間口3間、奥行き2間の玄関が設けられている。内部は幅8間、奥行き9間となっている。床は板張(現在は緋襷敷き)、高い天井は格天井となっており、東側正面には祭壇が設けられ、両側の窓からは間内へ入ったところにはそれぞれ4本の角柱が並び立つ。国登録文化財:H29.6.28	G4				
I b	C	06	大講堂食堂	天野町982番地	本造平屋建、瓦葺、建築面積347㎡	昭和17年(1942)	講堂建築にともなって付設	東側に増改築有り	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 忍之橋東 本瓦葺切妻屋根で浴室と炊事室上部屋根にはそれぞれ採光のための越し屋根を設けている。平面構成は1間半の廊下に沿って北から浴室、倉庫、炊事室、食堂に大きく部屋割がされている。食堂部全体の長さは14間、奥行きは浴室が4間、順に深くなり食堂が8間となっている。食堂の前には間口、奥行きそれぞれ1間半の玄関が設けられている。国登録文化財:H29.6.28	G4				
I c	C	07	廊下	天野町982番地	8.5m×3.7m	昭和(戦前)	講堂建築にともなって付設	R4.6現状変更一部撤去	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	食堂と講堂をつなぐ渡り廊下 瓦葺 現状変更対応 国登録文化財:H29.6.28	G4				
I c	D	09	板碑	天野町1009-3番地	1段目縦 0.83m 横 2.65m 2段目縦 0.32m 横 1.12m 3段目縦 2.14m	明治31年(1898)5月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 忍之橋付近 屋根橋北寺坊址 板碑 「斤俵松碑」の説明	G6		21		
I c	D	10	石積	天野町1008番地	延長約38m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ2.0m	G5	○			
I c	D	11	石積	天野町1547番地	延長約109m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ2.0m	F4,F3,F2	○		経過観察が必要	
I c	D	12	石積	天野町1010-3番地	延長約30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ1.5m	G4,G5				
I c	D	13	石積	天野町1543番地	延長約34m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ2.0m	F2,F3	○		軽微な修理が必要	

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I c	D	14	石積	天野町1547番地	延長約30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ20m	G6	○		
II	I	01	建物	天野町1008番地	9×4	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 禪之橋側 無 置券院前 炊事棟 香楹瓦造	F5			瓦落下
II	I	02	建物	天野町993番地	9.3×3.6	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	方形瓦葺 講堂西側の便所	G5			滅失
II b	I	03	蔵	天野町1540番地	12.3m×6.35m	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	天野会館裏 切妻瓦葺	G3			躯体は軽微な修理が必要 屋根は経過観察が必要
II	I	04	倉庫	天野町1540番地	5.6m×12.9m	—	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	天野会館裏	G3			
I c	I	05	金剛寺 鎮守橋(上 屋)	天野町1009-3	木造、銅板葺、 全長6.4m	昭和16年 (1941)11月 16日	—	—	木造(1階建)	金剛寺	金剛寺	楼門から南東側、鎮守橋の上 屋、切妻瓦葺 国登録文化財・H29.6.28	G6	○		根本修理が必要
II	J	01	橋・標識・擬宝珠	天野町1547番地	幅 4.50m 奥行き 7.00m	—	—	—	鉄・石	金剛寺	金剛寺	天野川架設遺之橋の橋標 識 a高之橋 b天野川 d昭和 四十五年十一月二十一日 c天野山 金剛寺 七十五 世 為雄代 e天野山会館	F3	○	9-A9-B	
II	J	02	橋・標識・擬宝珠	天野町1547番地	幅 4.00m 奥行き 5.30m	—	—	—	鉄・石	金剛寺	金剛寺	天野川架設遺之橋の橋標・ 擬宝珠 ad遺之橋 bc天野川 e昭 和三十九年七月五日 天 野山 金剛寺	F3	○	10-A10- B	
II	J	03	橋・標識・擬宝珠	天野町1547番地	幅 2.10m 奥行き 6.10m	—	—	—	コンクリート製 鉄・石	金剛寺	金剛寺	天野川架設遺之橋の橋標・ 擬宝珠 A天野山金剛寺 大阪市平 野流町 B施主 菅生清子正樹 昭 和三十九年七月五日 為 雄代 c進之橋 b天野川 c天野 川 d進之橋	F4	○	11-A11- B	
II	J	04	橋・標識・擬宝珠	天野町1547番地	擬宝珠 高さ 0.3m×幅0.15m	—	—	—	コンクリート製 鉄	金剛寺	金剛寺	天野川架設遺之橋の橋標・ 擬宝珠 右側「忍之橋」 左側「天野川」	F4	○	12-A12- B	

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	05	橋・標識	天野町T1547番地	擬宝珠 高さ0.31m×幅0.125m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	天野川架設禪之橋の標識 右側「禪之橋」 左側「天野川」	F5	○	13	
II	J	06	橋・標識・擬宝珠	天野町T1547番地	擬宝珠 高さ0.35m×幅30m×奥行き6.40m コンクリート製	—	—	—	鉄・石	金剛寺	金剛寺	天野川架設式之橋の標識・ 擬宝珠 「戒之橋」[かいのはし]	G6	○	14-A,14-B	直下の石積は破損 状況を調査の上、適 切な修理が必要
II	J	07	擁壁	天野町T1010-3番地	延長約29m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		G2			
II	J	08	擁壁	天野町T1540番地	延長約18m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	最大高さ0.9m	G3			
II	J	09	擁壁	天野町992番地	延長約9m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	石積+C管積 蛇籠積みと なっている。	G4			
II	J	10	鉄柱	天野町T1547番地	幅 0.08m 周長 0.08m 高さ 0.87m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰 滅失	F3			
II	J	11	量水器	天野町T1547番地	幅 0.28m 奥行き 0.18m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	壇之橋西詰	F3			
II	J	12	止水バルブ	天野町T1547番地	φ 0.14m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	壇之橋西詰 2ヶ所	F3			
II	J	13	鉄柱	天野町T1547番地	幅 0.08m 周長 0.08m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	忍之橋西詰南	F5			
II	J	14	電柱	天野町T1547番地	φ 0.16m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	禪之橋西詰「天野山78」	F5			
II	J	15	電柱	天野町T1547番地	φ 0.16m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	戒之橋西詰北「アマノサ ン78」	F5			
II	J	16	引込柱	天野町T1547番地	φ 0.11m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	惠の橋西詰	G6			
II	J	17	電柱	天野町T1547番地	φ 0.15m	—	—	—	鉄	関西電力	関西電力	鎮守橋西詰 アマノサン79(行き先案内板 付)	G6			
II	J	18	ベンチ	天野町T1008番地	幅 1.80m 奥行き 0.40m 高さ 0.35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	戒之橋東詰	G6			
II	J	19	引込柱	天野町T1008番地	φ 0.09m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	戒之橋東詰北	G5			
II	J	20	汚水マス群	天野町T1009-3番地	φ 0.65m	—	—	—	鉄、塩ビ	金剛寺	金剛寺	トイレ東側 5ヶ所	G5			
II	J	21	浄化槽	天野町T1009-3番地	幅 0.90m 奥行き 2.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	トイレ東側	G5			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	22	花壇	天野町1539番地	高さ 0.30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	神之橋裏詰	G5			
II	J	23	外灯	天野町1008番地	φ 0.11m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	神之橋裏詰	G5			
II	J	24	木柵	天野町1009-3番地	高さ 1.40m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	トイレ北側 滅失	G5			
II	J	25	水栓柱	天野町1539番地	高さ 0.50m 0.9m	—	—	—		金剛寺	金剛寺	水子地藏北側 交換	G5			
II	J	26	側溝	天野町1539番地	幅 0.25m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	水子地藏北側	G5			
II	J	27	井戸	天野町1008番地	φ 0.85m 高さ 0.58m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	水子地藏裏側	G5			
II	J	28	U字側溝	天野町1008番地	幅 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	無量寿院南側 会所付	G5			
II	J	29	U字側溝	天野町1539番地	幅 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	無量寿院裏側 グレーディング付	G5			
II	J	30	会所	天野町992番地	幅 0.53m 奥行 0.53m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	講堂南西	F4			
II	J	31	汚水マス	天野町992番地	φ 0.40m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	講堂南西	F4			
II	J	32	外灯	天野町992番地	φ 0.11m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	講堂西 交換	F4			
II	J	33	花壇	天野町992番地	高さ 0.15m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)南西	F4			
II	J	34	花壇	天野町992番地	高さ 0.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)西	F4			
II	J	35	マンホール	天野町992番地	奥行 0.50m 高さ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)西	F4			
II	J	36	マンホール	天野町992番地	φ 0.23m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)西 2ヶ所	F4			
II	J	37	マンホール	天野町992番地	φ 0.30m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)西	F4			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き操状況
II	J	38	U字溝	天野町1540番地	幅 0.15m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西	F3			
II	J	39	マンホール	天野町1540番地	φ 0.36m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西	F3			
II	J	40	水柱柱	天野町1540番地	—	—	—	—	塩ビ	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西 交換	F3			
II	J	41	量水器	天野町1540番地	幅 0.37m 奥行き 0.23m	—	—	—	2ヶ所	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西	F3			
II	J	42	外灯	天野町1540番地	φ 0.06m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西 交換	F3			
II	J	43	会所	天野町1540番地	幅 0.25m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北西	F3			蓋が割れている
II	J	44	花壇	天野町1540番地	高さ 0.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	天野山会館西	F3			
II	J	45	スロープ	天野町1540番地	幅 5.90m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	天野山会館車寄せ	F3			
II	J	46	電柱(引込柱)	天野町1540番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	天野山会館東	G3			
II	J	47	会所	天野町992番地	幅 1.30m 奥行き 1.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北東	G4			
II	J	48	バルブ	天野町992番地	φ 0.18m	—	—	—	プラ	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北東	G4			
II	J	49	U字溝	天野町992番地	幅 0.13m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)北東 会所付	G4			
II	J	50	現場打削溝	天野町992番地	幅 0.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)東	G4			
II	J	51	U字溝	天野町992番地	幅 0.18m	—	—	—	コンクリート、ブロック	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)南	G4			
II	J	52	U字溝	天野町992番地	幅 0.18m	—	—	—	コンクリート、ブロック	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)南	G4			
II	J	53	コンクリート基礎	天野町992番地	幅 1.50m 周長 1.00m 高さ 0.10m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	食堂(近代)南	G4			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	J	54	井戸	天野町983番地	幅 0.80m 奥行き 0.80m 高さ 0.35m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	無量寿院北 手打ポンプ付	G5			
II	J	55	U字溝	天野町983番地	幅 0.18m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	無量寿院北	G4			
II	J	56	現場打削溝	天野町1010-3番地	幅 0.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド真側	G2			
II	J	57	車止め	天野町988番地	高さ 0.70m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	グラウンド進入路の車止め 2ヶ所	G2			
II	J	58	ベンチ	天野町1543番地	幅 1.65m 奥行き 0.45m 高さ 0.30m	—	—	—	ブラ	金剛寺	金剛寺	グラウンド北側 2ヶ所	F2,G2			滅失
II	J	59	ベンチ	天野町1543番地	φ 0.45m 高さ 0.30m	—	—	—	ブラ	金剛寺	金剛寺	グラウンド北西側 3ヶ所	F2			滅失
II	J	60	ベンチ	天野町1542番地	φ 0.60m 高さ 0.40m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド西側 2ヶ所	F2			北側のベンチは座面 が割れている
II	J	61	現場打削溝	天野町1542番地	幅 0.26m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド西側	F2			
II	J	62	ベンチ	天野町1542番地	幅 1.80m 奥行き 0.40m 高さ 0.40m	—	—	—	木・コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド西側 2ヶ所	F2			座面(木部)の劣化 が著しい
II	J	63	ベンチ	天野町1542番地	φ 0.60m 高さ 0.40m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド南西側 3ヶ所	F3			3ヶ所となっている が、2ヶ所
II	J	64	スロープ	天野町988番地	幅 3.00m 奥行き 6.00m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド進入スロープ	G2			
II	J	65	現場打削溝	天野町1543番地	幅 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド北側	F2			
II	J	66	U字溝	天野町1543番地	幅 0.33m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	グラウンド西側	F2			
II	J	67	擁壁	天野町1543番地	延長約65m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		F1,F2			
II	J	68	擁壁	天野町1543番地	延長約62m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ2.5m	F1,F2			
II	L	01	看板	天野町1542番地	幅 0.45m 高さ 1.50m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	グラウンド南西 コミは各自でお持ち帰り下さい	F2			川沿いの2ヶ所看板 劣化、道沿いは劣化 なし

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
II	L	02	説明石	天野町1009-3番地	幅=0.95m 奥行き=1.20m 高さ=0.60m	平成5年 (1993)3月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	戒之橋東方 市設置 金剛寺(天野山遺跡)の説明石	G6			
II	L	03	看板	天野町1546番地	幅 3.77m 高さ 2.55m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	北側駐車場裏 天野山金剛寺案内図	F2			塗装剥離、退色
II	L	04	標式柱	天野町1008番地	φ 0.30m 高さ 1.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	戒之橋裏 便所(案内板)	G6			
II	L	05	看板	天野町1543番地	幅 1.45m 高さ 1.70m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	グラウンド北西 「ゴミでお持ち帰り運動」案内板	F2			看板の木部ほぼ腐 食・落下 支柱の鉄部のみ残 る
II	L	06	看板	天野町1543番地	幅 0.45m 高さ 1.45m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	グラウンド北西	F2			
II	N	01	門	天野町1008番地	W1.8m × D1.20m	—	—	H3修理	木造	金剛寺	金剛寺	戒之橋真詰	G6	△		
III	D	15	板碑	天野町992番地	幅=0.91m 奥行き=0.19m 高さ=2.25+0.70m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	金剛寺堂前 表「高野山金剛流詠歌大成之寺 流祖当山第七十二世智我部俊雄 和上」	F4		16	
III	I	06	天野山会館	天野町1540番地	30.5m × 14.2m	—	—	—	RC構造(2階建)	金剛寺	金剛寺	金堂北側 切妻瓦葺	G3			
III	E	01	岩	天野町1540番地	幅 1.60m 奥行き 1.60m 高さ 0.90m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 恵の橋南東側	F3			
III	E	02	岩	天野町1542番地	幅 1.60m 奥行き 1.00m 高さ 0.80m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	天野川右岸 恵の橋北東側	F3			
III	F	01	カシ	天野町1009-3番地	C-110	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G6			
III	F	02	ツクハネガシ	天野町1009-3番地	C-900	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G6			
III	F	03	アラカシ	天野町1009-3番地	C-70	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	G6			
III	F	04	ツバキ	天野町1009-3番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G6			
III	F	05	カシ	天野町1008番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G6			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	建造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	06	モミジ	天野町1547番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F5			
Ⅲ	F	07	モミジ	天野町1547番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F5			
Ⅲ	F	08	カン	天野町1539番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F5			
Ⅲ	F	09	モミジ	天野町993番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4,F5			
Ⅲ	F	10	アカマカシワ	天野町993番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	11	サクラ	天野町1547番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	12	モミジ	天野町1547番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	13	サルスベリ	天野町992番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	14	イロハモミジ	天野町992番地	C-15	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	15	カイズカイブキ	天野町992番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F4			
Ⅲ	F	16	イチヨウ	天野町1540番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F3			
Ⅲ	F	17	モミジ	天野町1547番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G6			
Ⅲ	F	18	モミジ	天野町1547番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	F5			
Ⅲ	F	19	シダレザクラ	天野町1008番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	20	スギ	天野町1008番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	21	スギ	天野町1008番地	C-35	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	22	スギ	天野町1009-3番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	23	モミジ	天野町1009-3番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	24	スギ	天野町1009番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	25	スギ・マキ	天野町1009-3番地		—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	スギ・マキが共生	G5			
Ⅲ	F	26	サクラ	天野町1547番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F5			
Ⅲ	F	27	シラカン	天野町1539番地	C-60	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G5			
Ⅲ	F	28	サクラ	天野町1547番地	C-55	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	F4			
Ⅲ	F	29	モミジ	天野町1547番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F4			
Ⅲ	F	30	モミジ	天野町1547番地	C-25	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	F4			
Ⅲ	F	31	サクラ	天野町1540番地	C-60	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F3			
Ⅲ	F	32	モミジ	天野町1540番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F3			
Ⅲ	F	33	モミジ	天野町1547番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	三本立	F2			
Ⅲ	F	34	ナンキンハゼ	天野町1542番地	C-55?	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	(115と同種類)	F2			
Ⅲ	F	35	クスノキ	天野町1543番地	C-90	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	二本立	F2			
Ⅲ	F	36	ナンキンハゼ	天野町1542番地	C-45?	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	(113と同種類)	F2			
Ⅲ	F	37	ナンキンハゼ	天野町1543番地	C-45	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F2			
Ⅲ	F	38	クスノキ	天野町1543番地	C-90	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F2			
Ⅲ	F	39	クスノキ	天野町1543番地	C-20	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F2			
Ⅲ	F	40	モミジ	天野町1543番地	C-30	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F2			
Ⅲ	F	41	ナンキンハゼ	天野町1543番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		F2			
Ⅲ	F	42	ナンキンハゼ	天野町1543番地	C-60	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G2			
Ⅲ	F	43	ナンキンハゼ	天野町988番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G2			
Ⅲ	F	44	ケヤキ	天野町988番地	C-60	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G2			

⑤天野川東岸の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
III	H	01	広場	天野町1009-3番地	約500㎡	—	—	—	土	金剛寺	金剛寺	水子地藏の広場 杉が植林されている	G5			現状変更対応
III	H	02	グラウンド	天野町1542番地	約2300㎡	—	—	—	土	金剛寺	金剛寺	北側グラウンド	G2			
III	N	02	建物	天野町1008番地	—	—	—	—	RC構造(1階建)	金剛寺	金剛寺	戒之橋真話 公衆便所	G5			
III	N	03	建物	天野町1010-3番地	—	—	—	—	CB-1	金剛寺	金剛寺	103の増設部分	G4			
III	O	01	銅像	天野町1540番地	高さ=1.02m	—	—	—	銅	金剛寺	金剛寺	天野山会館 北側	F3			
III	P	01	水子地藏一式	天野町1008番地	—	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	無券院南側 水子地藏、ベンチ、石畳等含む 昭和十五年十二月十五日 天野山金剛寺七十七世 智範代	G5			令和4年(2022)納 骨堂の建設にとも ない移設
II	L	追1	看板	天野町1008番地	樹脂製 1.18×1.20m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	天野谷の歴史文化遺産保存活用地区	F2			
III	P	追1	納骨堂	天野町1008番地	—	令和4年(2022) 5月完成	—	—	—	金剛寺	金剛寺	スロープ含む、井戸、石畳、照明、デッキ、 階段を含む。	G5			
II	J	追1	防犯カメラのポ ール	天野町1008番地	鉄製、直径0.12×高 さ6m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		F2			
II	J	追2	防災マンホール	天野町1008番地	鉄製 直径0.35m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		G3			
II	J	追3	消火栓	天野町1008番地	鉄製 四角形	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		F3			
II	J	追4	抜気塔	天野町1008番地	塔型製 直径0.35m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		F4			基礎のコンクリート 割れている 斜めに傾いている
II	J	追5	マンホール	天野町1008番地	鉄製 0.60×0.60m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	3ヶ所あり	F4			
II	J	追6	U字溝	天野町1008番地	コンクリート製 W0.30m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	グレーチング、会所柵2ヶ所	F4			
II	J	追7	会所	天野町1008番地	鉄製 1.30×1.10m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	2ヶ所、建物の東西	F3			
II	J	追8	排水溝	天野町1008番地	W0.15m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	会所柵1ヶ所	F4			
II	J	追9	会所	天野町1008番地	0.5×0.5m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	2ヶ所	F5			
II	J	追10	会所	天野町1008番地	0.33×0.33m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		F4			
II	J	追11	防犯カメラのポ ール	天野町1008番地	直径0.12×高さ4m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺		F5			
II	J	追12	防犯設備ボックス	天野町1008番地	0.32×0.76×0.90m	現代	—	—	—	金剛寺	金剛寺	金属製	F5			

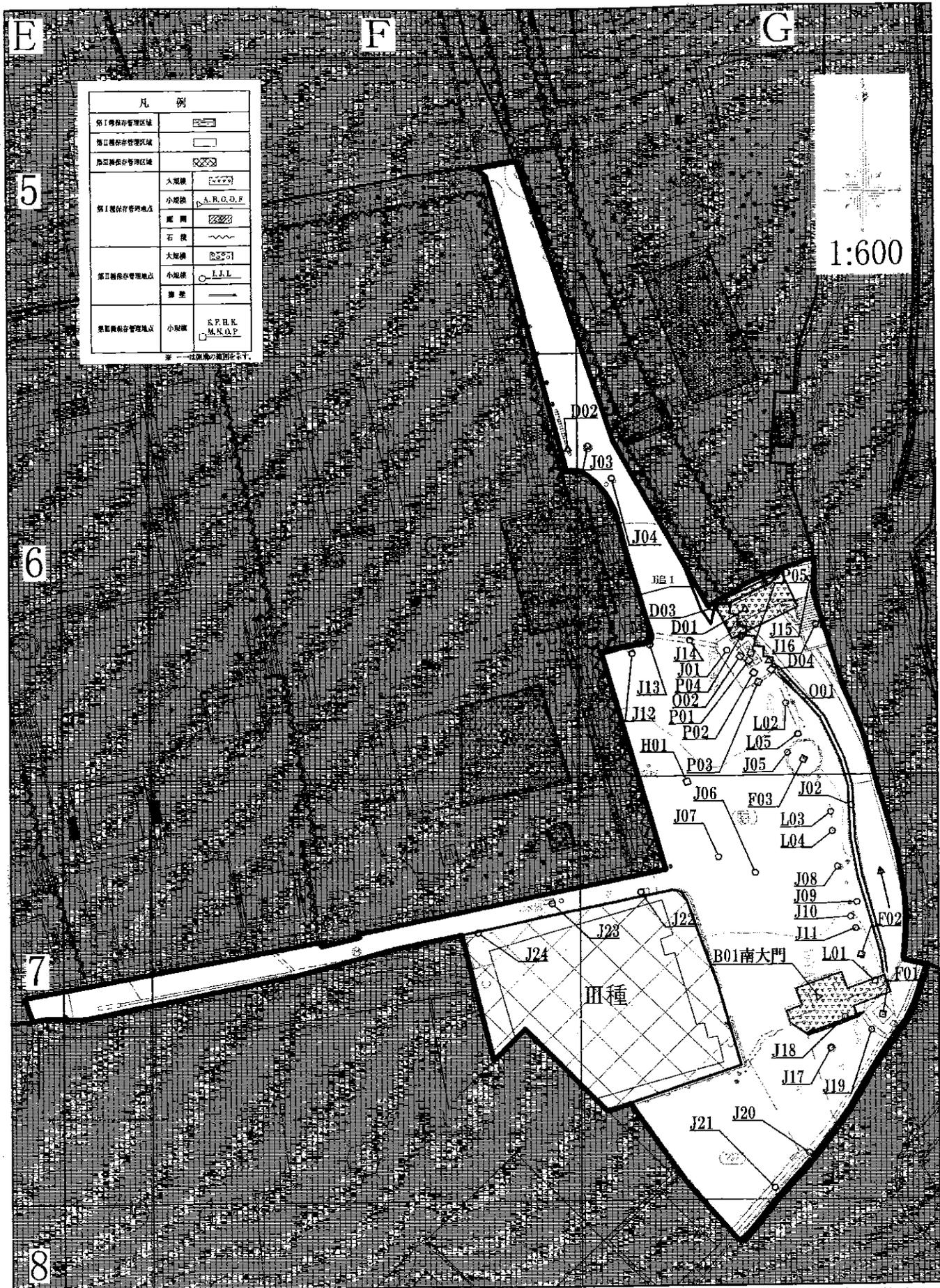
⑥ 史跡南部の子院遺構群地区取扱方針

史跡の南部にあり、伽藍の東に隣接する子院遺構群である。現在は、駐車場として利用されており、建造物は、重要文化財の金剛寺南門が存在するのみである。観光客・参拝者は、多くが自動車を利用して金剛寺を訪れており、この地区における駐車場は収容力が小さいものの、伽藍に直結しているため、バリアフリーの観点からも、この地区における駐車スペースの機能維持・管理は必要である。地下には、子院遺構が埋蔵されていることが古絵図や小字名、発掘調査の成果などから明らかとなっている。そのため当該地区は、地下遺構の保全を図りつつ、現状での機能を今後も継続的に果たせるように維持管理を行う必要があり、そのための現状変更はみとめる。

第17表 史跡南部の子院遺構群地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理物件	第Ⅱ種保存管理区域及び物件	第Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。	住民の日常生活に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観への影響を配慮すること。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	該当なし。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。	同上
木竹の植樹・伐採等	該当なし。	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	同上
道路の新設・改良	該当なし。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。	同上

その他、建造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。	同上
指定文化財の保存修理	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に対しては保存の措置をとる。	該当なし。	該当なし。
建造物内部の維持管理上必要な修理等	該当なし。	該当なし。	必要な範囲内でみとめる。
防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）	防災上必要な行為を含め、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更と調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。
防災対策（地震・火災）	防災上必要な行為を含め、史跡の重要な構成要素としての建造物等の保存を尊重しつつ、史跡保存のための現状変更との調和を図る。上記によるものであっても、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。周囲の第I種保存管理物件に馴染むものとする。



第 27 図 ⑥史跡南部の子院遺構群地区

⑥史跡南部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況	
I a	B	01	金剛寺南門	天野町1547番地	一間薬師門、切妻造、本瓦葺、北袖塀附風、棧瓦葺	江戸(元禄13年(1700))	—	平成6年(1994)解体修理	—	金剛寺	金剛寺	金剛寺南側の門 府指定有形文化財 S48.3.30 (日野口門) 国指定有形文化財:重文 R.1.12.27	G7				
I c	C・D	01	金剛寺鎮守櫓・擬宝珠	天野町1547番地	擬宝珠 高さ0.35m×幅3.0m 奥行き6.40m	昭和16年(1941)慶長10年(1605)正月	—	—	木・鉄	金剛寺	金剛寺	国登録有形文化財:H29.6.28 屋形櫓の擬宝珠(9個)はI c種 櫓はI c種	G6	○	15	端は解体修理が必要、直下の石種は緊急な津見直しが必要	
I c	D	02	香附者権禱石柱	天野町1547番地	幅=0.19m 奥行き=0.12m 高さ=1.10m×19本	種々	—	—	石	金剛寺	金剛寺	中門下右側	F6		34		
I c	D	03	櫓石	天野町1547番地	縦 0.135m 横 0.24m 高さ 0.92m	昭和16年(1941)1月16日	—	—	花崗岩	金剛寺	金剛寺	鎮守櫓々語の櫓石 素「昭和十六年一月十六日架換 當山第七十二世後雄代施主文 阪金剛會」	G6		27		
I c	D	04	石積	天野町1547番地	延長約30m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ2.0m	G6				
II a	J	01	石置	天野町1547番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	水掛三尊仏前	G6				
II a	J	02	擁壁	天野町1547番地	延長約35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		G6,G7				
II a	J	03	マンホール(電気)	天野町1547番地	φ 0.71m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	戒之橋西詰西	G6				
II a	J	04	車止め	天野町1547番地	φ 0.09m 高さ 1.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	戒之橋西詰南西 2ヶ所	G6				
II a	J	05	花壇	天野町1547番地	高さ 0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	南駐車場東	G6				
II a	J	06	会所	天野町1547番地	幅 1.00m 奥行き 0.40m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南駐車場中央 クレーナ付	G7				
II a	J	07	止水栓	天野町1547番地	φ 0.17m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南駐車場中央、2か所	G7				
II a	J	08	電柱・街灯	天野町1547番地	φ 0.15m	—	—	—	鉄	関西電力	関西電力	南門北東 アマノサン 80.(看板付)	G7				
II a	J	09	水栓柱	天野町1547番地	高さ 0.60m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	南門北東	G7				
II a	J	10	低圧地上分岐箱	天野町1547番地	幅 0.80m 奥行き 0.44m 高さ 0.57m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南門北東	G7				
II a	J	11	引込柱	天野町1547番地	φ 0.13m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南門北東	G7				
II a	J	12	消火栓・ホース格納箱	天野町1547番地	幅 0.60m 奥行き 0.30m 高さ 1.20m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	南駐車場北西	G6				
II a	J	13	消火栓	天野町1547番地	奥行き 0.13m 高さ 0.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南駐車場北西	G6				
II a	J	14	縁石	天野町1547番地	幅 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	南駐車場北	G6				

⑥史跡南部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
IIa	J	15	外灯	天野町1547番地	φ 0.14m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守橋東詰	G6			
IIa	J	16	階段	天野町1547番地	幅 2.65m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	鎮守橋東詰	G6			
IIa	J	17	マンホール	天野町1547番地	φ 0.67m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南門南	G7			
IIa	J	18	側溝	天野町1547番地	幅 0.22m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	南門南 鉄板つた付	G7			
IIa	J	19	制水弁	天野町1547番地	φ 0.30m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南門南	G7			
IIa	J	20	電柱	天野町1547番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	南門南西 アマサン81G1G1	G7			
IIa	J	21	木塙	天野町1547番地	高さ=2.0m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	南門南西 瓦屋根付	G7			
IIa	J	22	雨水会所	天野町1547番地	—	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	南門北西 鉄蓋付	G7			
IIa	J	23	止水栓量水器	天野町1547番地	—	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	南門北西	F7			
IIa	J	24	側溝	天野町1547番地	W=0.30m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	南門北西、グレーチング付	F7			
IIa	L	01	標石	天野町1547番地	幅=0.46m 奥行き=0.46m 高さ=1.10m	—	—	—	石・木	金剛寺	金剛寺	南門東	G7			板が破損
IIa	L	02	看板	天野町1547番地	幅 5.10m 高さ 3.20m	—	—	平成19年10月31日更新	鉄	金剛寺	金剛寺	南側駐車場北東、大本山天野山金剛寺全景図 平成19年(開取りによる推定)	G6			
IIa	L	03	看板	天野町1547番地	幅 1.80m 高さ 1.90m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	南側駐車場東 天野山金剛寺案内板	G7			
IIa	L	04	看板	天野町1547番地	幅 1.30m 高さ 1.90m	—	—	—	ステンレス	金剛寺	金剛寺	南側駐車場東 ふるさと文化財の森 案内板	G7			
III	F	01	サクラ	天野町1547番地	C-80	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G7			
III	F	02	クスノキ	天野町1547番地	C-50	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		G7			
III	F	03	スギ	天野町1547番地	C-150	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	南側駐車場東	G6			
III	L	05	標石	天野町1547番地	幅=0.25m 奥行き=0.25m 高さ=1.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	南側駐車場東 (正面)大坂みどり百選 天野山金剛寺の森」	G6			
III	H	01	駐車場	天野町1547番地	約1000㎡	—	—	—	土	金剛寺	金剛寺	南側駐車場 南大門前	G7			
III	O	01	板碑	天野町1547番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門 西南側 水掛け三尊石奥板碑 芳名割愛	G6			26

⑥史跡南部の子院遺構群地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	O	02	水鉢	天野町1547番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	水掛三尊仏前	G6			
Ⅲ	P	01	台石	天野町1547番地	幅=2.85m 奥行=0.87m 高さ=0.73m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門 西南側 水掛け三尊の台石 左側面「不動明王像 辻 西平治 辻西野子 親世 音菩薩像 森田光造 森 田説 地藏菩薩像 西浦 貞二 西浦千代子」	G6		22	
Ⅲ	P	02	石造線香立	天野町1547番地	奥行き=0.68m 高さ=1.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門 西南側 水かけ三尊脇石造線香 立 「羽曳野市向野」 芳名割愛	G6		23	
Ⅲ	P	03	石造織立棒台	天野町1547番地	幅=0.18m 奥行き=1.56m 高さ=0.20m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門 西南側 水掛け三尊横石造織立 棒台 「奉獻 大坂茨山」 芳名割愛	G6		24	移転のため滅失
Ⅲ	P	04	幡竿支台(石柱)	天野町1547番地	奥行き=0.18m、幅0.20m 高さ=1.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	楼門 西南側 水掛け三尊幡竿支台 (石柱) 「奉獻 天野山 金剛婦 人委 運照委 昭和四十一年十月二十 一日」	G6		25	
Ⅲ	P	05	水掛三尊仏	天野町1547番地	高さ 1.40m	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	楼門 南東側 仏像三体ろうそく立て水 槽等一式	G6			
Ⅱa	J	追1	排水溝	天野町1547番地	グレーチング付き	平成22年 (2010)設置	—	—	—	金剛寺	金剛寺	—	G6			

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区取扱方針

重要文化財の鎮守丹生高野明神社本殿、鎮守水分明神社本殿、鎮守社拝殿、鎮守社鐘楼を中心とし、周囲の山林・国道を含めた地区である。山林は、大阪府営長野公園天野山地区となっていて、木材や檜皮など当該寺院の修復資材の供給地となっている。また、東西に丘陵をひかえた谷地形が本寺院の立地の大きな特色となっている。当該地区は、一部の第Ⅰ種保存管理区域をのぞき、大半が第Ⅱ種保存管理区域であるが、特色である丘陵地と谷地形の景観は保存の対象とし、できる限り現状での景観維持に努める。

第18表

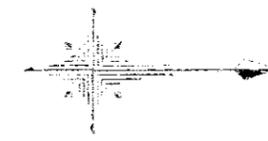
鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区取扱基準

項目	第Ⅰ種保存管理区域及び物件	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	新設は、原則的にみとめない。ただし、宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。
木竹の植樹・伐採等	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。	史跡の保存・管理・活用の範囲内でみとめる。ただし、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。
道路の新設・改良	原則的にみとめない。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。
その他、構造物の設置・改修・撤去	原則的にみとめない。ただし、第10表に基き宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用上、止むを得ず、他に手段がない場合は、現状変更をみとめる。上記によるものであっても地下遺構・景観に影響のない範囲に留める。	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。周囲の第Ⅰ種保存管理物件に馴染むものとする。

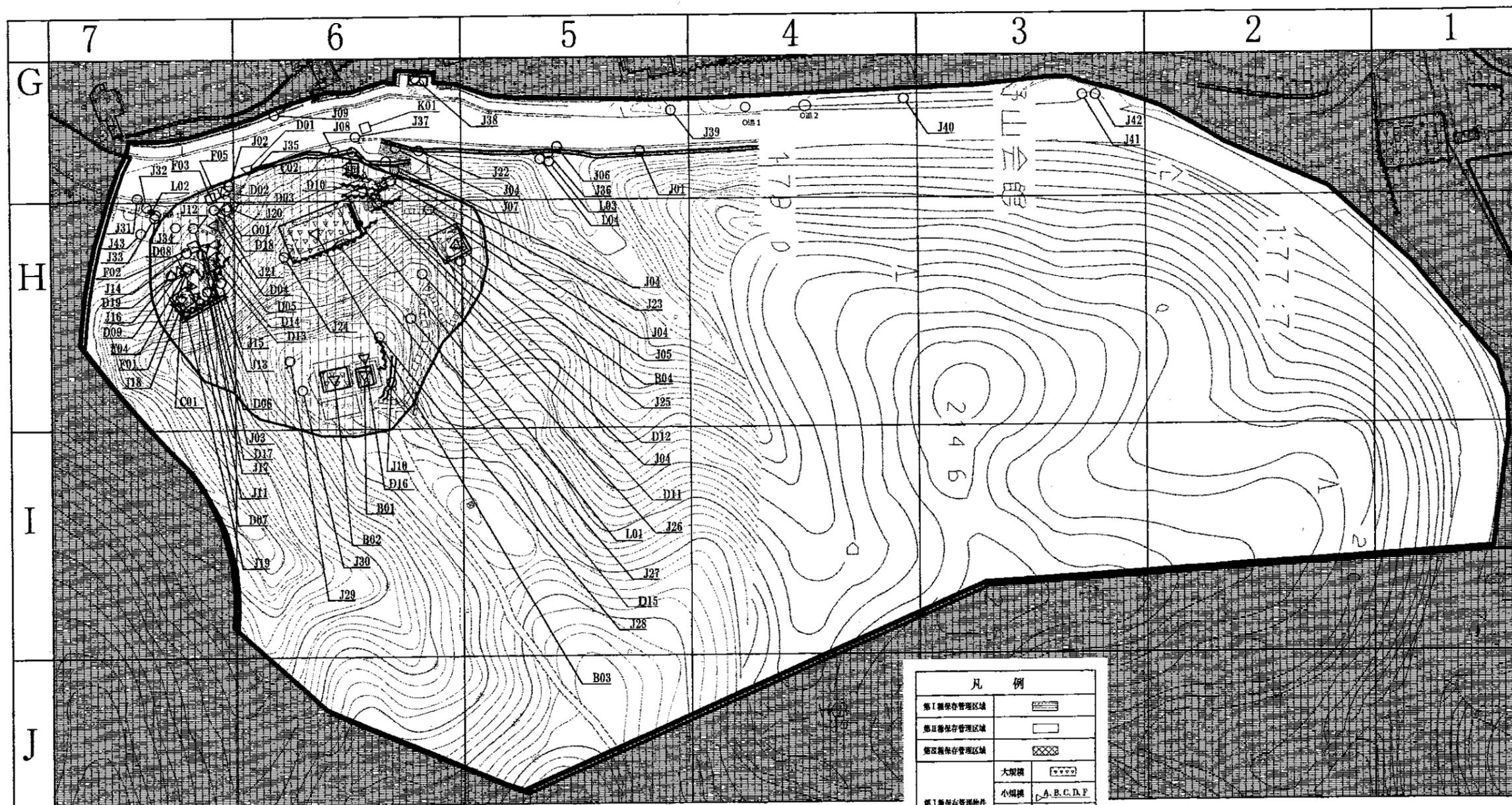
指定文化財の保存 修理	史跡の保存・管理・活用の範囲内で みとめる。ただし、遺構に影響のない ように留める。	該当なし。
建造物内部の維持 管理上必要な修理 等	必要な範囲内でみとめる。ただし指 定文化財においては、関係法令にお いてその定められた範囲内において みとめる。	必要な範囲内でみとめる。
防災対策（集中豪 雨・台風被害・土 砂災害・土砂流 出）	防災上必要な範囲内でみとめる。た だし、史跡の重要な構成要素として の建造物等の保存を尊重しつつ、史 跡保存のための現状変更と調和を 図る。上記によるものであっても、遺 構に影響のないように努め、景観に は特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、 遺構に影響のないように努め、景観 には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種 保存管理物件に馴染むものとするこ と。
防災対策（地震・ 火災）	防災上必要な範囲内でみとめる。た だし、史跡の重要な構成要素として の建造物等の保存を尊重しつつ、史 跡保存のための現状変更と調和を 図る。上記によるものであっても、遺 構に影響のないように努め、景観に は特に配慮する。	必要な範囲内でみとめる。この際、 遺構に影響のないように努め、景観 には特に配慮する。周囲の第Ⅰ種 保存管理物件に馴染むものとするこ と。

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拜殿を中心とする東部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き機状況
I a	B	01	金剛寺鎮守丹生高野明神社本殿	天野町1009-1番地	三間社流造 檜皮葺	江戸 (慶長11年(1606))	—	昭和63年(1988)屋根部分葺替 平成18年から平成19年(2006- 2007)屋根葺替・塗装(葺股3枚新 調)、部分修理	木造	金剛寺	金剛寺	府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	H6	○		看板朽ちて倒壊 屋根は経過観察 が必要
I a	B	02	金剛寺鎮守水分明神社本殿	天野町1009-1番地	一間社春日造 檜皮葺	江戸 (慶長11年(1606))	—	昭和62年から昭和63年(1987- 1988)解体修理(基礎・木・屋根・塗 装)	木造	金剛寺	金剛寺	府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	H6	○		看板朽ちて倒壊
I a	B	03	金剛寺鎮守社拜殿	天野町1009-1番地	桁行七間、梁 間三間一重、 入母屋造、本 瓦葺	江戸中期	—	平成2年(1990)解体修理(基礎・木・ 屋根・左官)	木造	金剛寺	金剛寺	府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	H6	○		
I a	B	04	金剛寺鎮守社鐘楼	天野町1009-1番地	桁行一間、梁 間一間、檜 皮付、切妻造、 本瓦葺	江戸中期	—	平成3年(1991)解体修理(基礎・木・ 屋根)	木造	金剛寺	金剛寺	府指定有形文化財 S48.3.30 国指定有形文化財:重文 R1.12.27	H6	○		軽微な修理が必 要
I a	C	01	孔雀堂	天野町1009-1番地	一間社、春日 造、銅板葺	江戸	—	—	木造	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神拜殿	H7	△		
I a	C	02	恵比寿社	天野町1009-1番地	一間社、春日 造、銅板葺、 見世棚造	江戸	—	—	木造(1階 建)	金剛寺	金剛寺	鎮守社 入母屋銅板葺	G6			
I a	D	01	裸石	天野町1009-1番地	幅=0.31m 奥行=0.31m 高さ=2.15m	安政4巳年(1858)5 月	—	—	石	金剛寺	金剛寺	(正面)「左ふら井てら道」 (左面)「石まき尾山道」 (右面)「安政四丁巳年五月 建之(裏面)為先祖菩提	G6			
I a	D	02	燈籠	天野町1009-1番地	幅=0.48m 奥行=0.48m 高さ=1.30m	—	—	—	石・木	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神	G7			
I a	D	03	手洗石	天野町1009-1番地	幅=1.30 奥行=0.80 高さ=0.60	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神	H6			
I a	D	04	階段	天野町1009-1番地	幅=2.42m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神参道 手摺付 H=0.96m	H7			
I a	D	05	狛犬(左)	天野町1009-1番地	幅=0.60m 奥行=0.38m 高さ=0.96m	安政2年(1855) 卯3月吉日	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神狛犬	H7			
I a	D	06	狛犬(右)	天野町1009-1番地	幅=0.61m 奥行=0.38m 高さ=0.90m	安政2年(1855) 卯3月吉日	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野高大明神狛犬 (正面)「泰納」(左面)「氏 子中」(右面)「安政二年 卯三月吉日」	H7			



1:1000



凡 例	
第一種保存管理区域	
第二種保存管理区域	
第三種保存管理区域	
第一種保存管理物件	大規模
	小規模
	庭 園
	石 積
第二種保存管理物件	大規模
	小規模
第三種保存管理物件	大規模
	小規模
第四種保存管理物件	大規模
	小規模

第 28 図 ⑦鎮守社及び拝殿を中心とする東部丘陵地区

※ 一は測線の縮小を示す。

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
I a	D	07	燈籠左	天野町1009-1番地	幅=0.48m 奥行=0.48m 高さ=1.35m	—	—	—	石・木	金剛寺	金剛寺	(正面)丹生高野面大明神 (左面)三月吉日(右面)宝暦五丁亥年	H7			
I a	D	08	燈籠右	天野町1009-1番地	幅=0.48m 奥行=0.45m 高さ=1.25m	—	—	—	石・木	金剛寺	金剛寺	(正面)丹生高野面大明神 (左面)「口」甲子年三月吉日(裏面)「不明」	H7			
I c	D	09	花立右	天野町1009-1番地	奥行=0.24m 高さ=1.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野面大明神 (正面)「奉」庄工門(裏面)「九月吉日」	H7			
I a	D	10	石積	天野町1009-1番地	延長約7m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ1.1m	G6	○		軽微な修理が必要
I a	D	11	石積	天野町1009-1番地	延長約23m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ1.4m	G6			
I a	D	12	石積	天野町1009-1番地	延長約7m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ1.2m	H6			
I a	D	13	石積	天野町1009-1番地	延長約9m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積 最大高さ1.7m	H7			
I a	D	14	石積	天野町1009-1番地	延長約22m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	平積 最大高さ1.6m	H7			
I c	D	15	石積	天野町1009-1番地	延長約21m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(整然) 最大高さ0.9m	H6			
I c	D	16	石積	天野町1009-1番地	延長約8m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	谷落積(雑然) 最大高さ0.4m H19に雨落敷設	H6			
I c	D	17	塀	天野町1009-1番地	高さ1.65m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	丹生高野面大明神拝殿塀	H7			
II a	J	01	擁壁	天野町1009-2・1010-3番地	—	—	—	—	石・コンクリート	金剛寺	金剛寺	—	G5			
II a	J	02	階段	天野町1009-1番地	W=2.43	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	親月橋渡り階段上がりすぐ 丹生高野面大明神参道 階段部は石で平坦部は砂利敷き 手摺付 H=0.96m	G7			
II a	J	03	階段	天野町1009-1番地	幅=2.40m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野面大明神 ※手摺付 H=1.03m	H7			
II a	J	04	階段	天野町1009-1番地	—	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道	G6	○		
II a	J	05	階段	天野町1009-1番地	—	—	—	—	石・コンクリート	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道	H6			
II a	J	06	擁壁	天野町1009-1番地	延長約70m	—	—	—	石積擁壁	金剛寺	金剛寺	最大高さ5.0m	G5,G6 G4			
II a	J	07	擁壁	天野町1009-1番地	延長約16m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ4.5m	G6			
II a	J	08	擁壁	天野町1009-1番地	延長約35m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ5.0m	G6			
II a	J	09	擁壁	天野町1009-3番地	延長約32m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	—	G6,G7			
II a	J	10	擁壁	天野町1009-1番地	延長約10m	—	—	—	石積擁壁	金剛寺	金剛寺	最大高さ2.1m	H6			

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き操状況
IIa	J	11	擁壁	天野町1009-1番地	延長約10m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	最大高さ1.8m	H7			
IIa	J	12	外灯	天野町1009-1番地	φ 0.06m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	H7			
IIa	J	13	手洗場	天野町1009-1番地	幅 0.85m 周長 0.52m 高さ 0.45m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	H7			
IIa	J	14	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.09m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	H7			
IIa	J	15	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.09m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	H7			
IIa	J	16	塀	天野町1009-1番地	高さ 2.00m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神拝殿塀	H7			
IIa	J	17	外灯	天野町1009-1番地	φ 0.06m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神境内	H7			
IIa	J	18	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神境内	H7			
IIa	J	19	鉄柵	天野町1009-1番地	高さ 2.30m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神境内北東	H7			
IIa	J	20	止水栓	天野町1009-1番地	φ 0.14m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神	H7			
IIa	J	21	量水器	天野町1009-1番地	幅 0.33m 奥行き 0.16m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神	H7			
IIa	J	22	境界石	天野町1009-1番地	幅 0.12m 高さ 0.20m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道 「大坂府」	G6			
IIa	J	23	柵	天野町1009-1番地	高さ 0.95m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道	G6			
IIa	J	24	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社拝殿南東	H6			
IIa	J	25	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮座棟	H5			
IIa	J	26	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道	H6			
IIa	J	27	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社参道	H6			
IIa	J	28	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社境内北西	H6			
IIa	J	29	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社境内南	H6			
IIa	J	30	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社境内南	H6			
IIa	J	31	電柱	天野町1009-1番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺	観月橋北	H7			

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拝殿を中心とする東部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
IIa	J	32	外灯	天野町1009-1番地	φ 0.15m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	観月橋北	H7			
IIa	J	33	引込柱	天野町1009-1番地	φ 0.10m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	観月橋北 2ヶ所	H7			
IIa	J	34	車止め	天野町1009-1番地	高さ 0.40m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	観月橋北	H7			
IIa	J	35	電柱	天野町1009-1番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ850、アマノサン81G3	G6			
IIa	J	36	電柱	天野町1009-1番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ83、アマノサン81G5	G5			
IIa	J	37	電柱	天野町1009-1番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関電	関電	国道沿いに立つ電柱 アマノ85、アマノサン81G4	G6			
IIa	L	01	看板	天野町1009-1番地	幅 0.40m 高さ 1.60m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	鎮守社拝殿 北 火気厳禁	H6			
III	D	18	鳥居	天野町1009-1番地	幅=0.27m 奥行=0.12m 高さ=1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野阿大明神 石造り鳥居	H7			
III	D	19	花立左	天野町1009-1番地	奥行=0.24m 高さ=1.10m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	丹生高野阿大明神	H7			
III	J	38	バス停	天野町1009-3番地	高さ□cm	—	—	—	アスファルト	南海バス	南海バス	南海バス「天野山」停留所	G6			
III	J	39	電柱	天野町1009-3番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ82、アマノサン81G6	G5			
III	J	40	電柱	天野町1009-3番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ81、アマノサン81G7	G4			
III	J	41	電柱	天野町1009-3番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ80、アマノサン74E5S7	G3			
III	J	42	カーブミラー	天野町1009-3番地	φ 0.07m	—	—	—	鉄	河内長野市	河内長野市	国道沿い 河内長野市2-333	G3			
III	J	43	電柱	天野町1009-1番地	φ 0.26m	—	—	—	コンクリート	関西電力	関西電力	国道沿いに立つ電柱 アマノ81E1	H7			
III	O	02	看板	天野町1009-1番地	幅 1.10m 高さ 1.90m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	観月橋北方 天野山鳥獣保護区区域図 大阪府	H7			
II	L	03	看板	天野町1009-1番地	幅 1.0m 高さ 2.0m	—	—	—	鉄	大阪府	大阪府	鳳致保安林 大阪府	G5			
II	L	04	境界石	天野町1009-1番地	高さ 0.30m	—	—	—	鉄	金剛寺	金剛寺	文部省	G5			
III	F	01	スギ	天野町1009番地	C-130	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		H7			
III	F	02	スギ	天野町1009-1番地	C-40	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		H7			
III	F	03	スギ	天野町1009-1番地	C-120	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺		H7			

⑦鎮守社（丹生高野明神社、水分明神社）及び拜殿を中心とする東部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考	き損状況
Ⅲ	F	04	杉	天野町1009-1番地	巨通 130cm H:15m位	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	H7			
Ⅲ	F	05	杉	天野町1009-1番地	巨通 95cm H:15m位	—	—	—	—	金剛寺	金剛寺	丹生高野両大明神参道	G7			
Ⅲ	K	01	道路	天野町 番地	幅 約10m	—	—	—	アスファルト	国	国	国道170号	G5,G6			
Ⅲ	O	01	標石	天野町1009-1番地	幅=0.27m 奥行=0.12m 高さ=1.00m	—	—	—	石	金剛寺	金剛寺	鳥居前「丹生高野両大明神」	H7			
Ⅲ	P	追01	燈明台	天野町1009-1番地	木製・コンクリート 基礎2基	—	—	—	木 コンクリート	金剛寺	-		H7			
Ⅲ	O	追01	境界柱(大阪府)	天野町1009-1番地	コンクリート角柱	—	—	—	コンクリート	大阪府	大阪府		G4			
Ⅲ	O	追02	境界柱(大阪府)	天野町1009-1番地	コンクリート角柱	—	—	—	コンクリート	大阪府	大阪府		G4			

⑧西部丘陵地区取扱方針

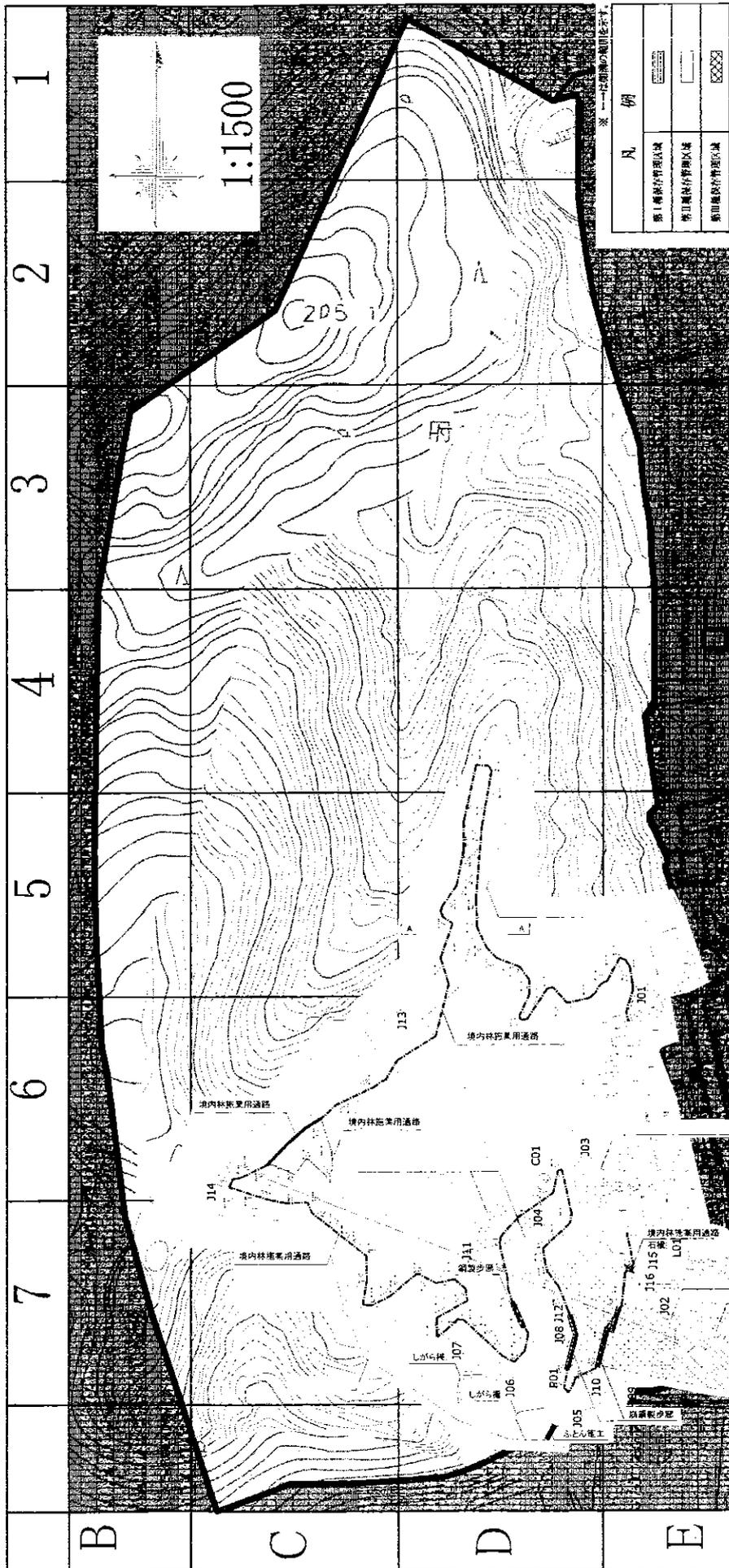
史跡の西部に広がる丘陵部である。当該地区は、現在山林であり大阪府営長野公園天野山地区となっている。なお、山林の大部分は、木材や檜皮など当該寺院の修復資材の供給地となっており、東西に丘陵をひかえた谷地形が本寺院の立地の大きな特色となっている。当該地区は、地区全体を第Ⅱ種保存管理区域とし、地下遺構の保全に留意しつつ、必要に応じて宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用のための現状変更をみとめる。ただし、特色である丘陵地と谷地形の景観は保存の対象とし、できる限り、現状での景観維持に努める。

第19表 西部丘陵地区取扱基準

項目	第Ⅱ・Ⅲ種保存管理区域及び物件
建築物の新設・増改築・移転・撤去	宗教活動や史跡の維持・保存・管理・活用に必要な場合はみとめる。この際、遺構・景観に影響のない範囲に留める。
上下水道・パイプライン・その他水路等の新設・改修・撤去	同上
木竹の植樹・伐採等	同上
道路の新設・改良	同上
その他、構造物の設置・改修・撤去	同上
防災対策（集中豪雨・台風被害・土砂災害・土砂流出）	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。
防災対策（地震・火災）	必要な範囲内でみとめる。この際、遺構に影響のないように努め、景観には特に配慮する。

⑧ 西部丘陵地区

種別	項目	図面番号	名称	所在地	規模・形状	築造時期	築造経緯	修理の履歴	材質	所有者	管理者	詳細説明	図面位置	絵図	備考
Ⅰa	C	1	院の墓	天野町1007番地	周囲の柵はⅡa種、花立はⅢ種	中世	不明	—	石	金剛寺	金剛寺	花立・木柵を含む	C6		C1
Ⅱa	J	01	木塀	天野町1007番地	高さ1.50m	—	—	—	木	金剛寺	金剛寺	護摩堂北側	E5		
Ⅱa	J	02	連結ワイヤー	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		D7		
Ⅱa	J	03	連結ワイヤー	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		E6		
Ⅱa	J	04	連結ワイヤー	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		D7		
Ⅱa	J	05	布回籠	天野町1007番地	2.0×1.2×H0.5	令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属・石	金剛寺	金剛寺		D7-8		
Ⅱa	J	06	しがら柵	天野町1007番地	h=0.5m 15m×12m	令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	木造	金剛寺	金剛寺		D7-8		
Ⅱa	J	07	しがら柵	天野町1007番地	h=0.5m 15m×12m	令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	木造	金剛寺	金剛寺		D7-8		
Ⅱa	J	08	作業用通路丸太階段1番～88番	天野町1007番地	W=1.0m、水柱柱(タンク)、電源中(プルボックス)を含む。	令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	擬木(コンクリート)	金剛寺	金剛寺		C6-7、D4-8、E7-5		
Ⅱa	J	09	鋼製歩廊1	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		E7		
Ⅱa	J	10	鋼製歩廊2	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		D7		
Ⅱa	J	11	鋼製歩廊3	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		D7		
Ⅱa	J	12	ステンレス手摺1番～88番	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属	金剛寺	金剛寺		C6-7、D4-8、E7-5		
Ⅱa	J	13	防火水槽	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	コンクリート	金剛寺	金剛寺		C6		
Ⅱa	J	14	石ベンチ	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	石	金剛寺	金剛寺		C7		
Ⅱa	J	15	水柱柱	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属・塩化ビニール	金剛寺	金剛寺	境内林施業用通路沿いに6箇所	C6-7、D4-8、E7-5		
Ⅱa	J	16	配管、ポンプ施設	天野町1007番地		令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	金属・塩化ビニール	金剛寺	金剛寺		C7		
Ⅱa	L	01	石標	天野町1007番地	幅=0.13m 2ヶ所 奥行=0.13m 高さ=0.45m	令和3年から令和4年(2021-2022)	災害復旧	—	石	金剛寺	金剛寺	八十八ヶ所スタート付近 1丁 100米・200米	E7		
Ⅲ	P	01	八十八ヶ所巡り1番～88番 石仏	天野町1007番地	88体 石壇台座付	近代・現代	災害復旧	—	石	金剛寺	金剛寺	ほこら、地蔵、石段、花立、手すりなど含む	C6-7、D4-8、E7-5		



※ 一一は距離の単位を示す。

凡 例	
第一種保存管理区域	
第二種保存管理区域	
第三種保存管理区域	
第一種保存管理物件	大規模
	小規模
	底層
第二種保存管理物件	石積
	大規模
第三種保存管理物件	小規模
	構築
第四種保存管理物件	長尺瓦葺
	短尺瓦葺

第 29 図 ㊸西部丘陵地区

第5節 防災・防犯および災害発生時の対応

1. 防災・防犯について

史跡金剛寺境内ではこれまで、平成30年（2018）10月の台風21号において、東側および西側丘陵地の境内林では大規模な土砂災害が発生した。地震に関する大規模な被害例はないが、全国的な近年の状況を見ると、平成28年（2016）4月の熊本地震では重要文化財阿蘇神社楼門が倒壊し、特別史跡熊本本城においては重要文化財建造物や石垣、復元建造物等の史跡全体でこれまでにない被害が生じた。令和6年1月1日の能登半島地震でも建造物等の倒壊といった大きな被害が発生している。



防災・防犯の現状としては、主に、設備の設置を行ってきた。このことは、第4章第3節3で整理し、あわせて課題についても指摘している。そのため本節では、各災害への備え全般に関する課題と今後の取組みの方向性について記載を行う。

なお、近年、史跡内の建造物等がムササビやアライグマといった小動物の被害、虫害などが多くなってきており、関係機関とも連携した対策を講じる必要性が生じている。

（1）各災害に対する課題

①文化財の所在・管理状況等の把握

災害、盗難、あるいはカビの発生などが起こった際に生じる、境内の文化財への被害に適切に対応するためには、未指定文化財も含めて、定期的に状態を把握しておく必要がある。また、立地や周辺環境を踏まえて、災害や盗難などに対するリスクを把握する必要もある。

②土砂災害対策

境内は丘陵地に囲まれており、広範囲にわたって土砂災害特別警戒区域あるいは土砂災害警戒区域となっている。一方で、周囲の丘陵は境内林として史跡景観の重要な構成要素ともなっており、擁壁などの土砂災害に効果的な構造物を設置することにも課題がある。

③震災対策

建造物等については「文化財建造物等の地震時における安全性の確保について（通知）」（平成8年（1996）1月17日庁保建第41号文化庁文化財保護部長通知）、「重要文化財（建造物）耐震診断指針（平成11年（1999）4月8日文化財保護部長裁定）」（平成24年（2012）6月21日改定）において示されたように、耐震対策を施すことが求められている。このため、史跡の構成要素である文化財建造物等についても、国の指針に沿って、大規模な工事を行う際には、耐震診断や耐震工事等の対策を行う必要がある。

④火災・盗難対策

第4章3節3でも整理したように、近年では、平成30年（2018）に自動火災報知設備の受信機および消火設備の一部改修を行い、防犯カメラおよび防犯センサーを新設した。そういった既存設備が最新の法令や指針などに合致しているかどうかの検討、老朽化への対応、そして未設置箇所に対する設置の検討を行う必要がある。

⑤防災・防犯意識の向上

第4章3節3で指摘したように、「広大な境内地における防災・防犯に対する備え」として、行政とともに、防災・防犯意識の向上に向けた「周知・啓発」を図っていく必要がある。また、意識の向上とともに、消火訓練など平時からの備えも必要である。

（2）取組の方向性

①文化財の所在・管理状況等の把握

今後も定期的に状況確認を行い、未指定文化財を含めた文化財の写真・特徴・寸法などの記録を取ることも検討しつつ、被害があった場合に備える。

②土砂災害対策

ハザードマップ等を活用した文化財の災害リスクを把握する。なお、東西丘陵地は急傾斜地崩壊危険区域であり、災害発生時の影響が大きいと予測される。そこで対策を講じる際には、史跡地および周辺地域への被害を最小化するため、景観に配慮しつつ、耐久性や効果をより重視した方法を採用する必要がある。

③震災対策

国の指針にしたがい、修復の機会を活用して、文化財建造物・美術工芸品の保存施設の耐震構造化の促進を行う。収蔵および展示している文化財については、免震装置や支持具を用いた転倒防止対策やフィルムを用いた飛散防止対策を行う。また、緊急地震速報が来訪者の端末で受信できるように、電波の送受信環境に必要な設備を整えていく必要がある。

④火災・盗難対策

第4章3節3で指摘したように、既存火災・盗難防止設備の検討や老朽化への対応、未設置箇所に対する設備の設置について、今後検討を行っていく。

また、日常的な見回り看視を行うとともに、日頃から消防・警察等の関係機関や周辺住民との連携を密にすることで、異変に気付く体制づくりを心がける。

⑤防災・防犯の意識向上

毎年1月26日の文化財防火デーに合わせてポスターを掲示するなどして、防火意識を高め、関係者間だけでなく来訪者に向けた啓発を行う。また、関係者間では、史跡内にある文化財やエリアごとの災害や盗難に関するリスク共有を行う。

2. 災害等発生時の対応

(1) 現状と課題

これまで大規模な震災、火災、盗難が発生した事案はないが、台風による土砂災害発生時には、史跡地の一部を管理している大阪府営長野公園事務所と連携し、被害状況を確認して、河内長野市・大阪府を通じて文化庁へ報告してきた。

平成30年（2018）の台風21号で被災した際には、境内主要部分の仮復旧を行い、土砂災害が発生した法面の復旧を行った。ただし、西側斜面は倒木の被害が大きく、また大きな土砂流出が発生していたために、丘陵内部に立ち入るのも難しく、被害状況の確認ができない状況であった。そのため復旧の方法・方針が定まらず、有識者から意見聴取して方針を固めるのに一定の時間を要した。これにより復旧工事は非常に遅れることとなり、令和3年度になってようやく着手することができた。

(2) 取組みの方向性

基本的な考え方として、大規模災害が起こった際には、まずは人命最優先の行動が大前提である。その上で文化財に対する被害を把握し、損壊や散逸など被害の拡大を可能な限り防ぐ必要がある。また、第4章で課題として指摘したように、本史跡を管理する体制においては、「初動対応を少ない職員数で対処しなければならないことが想定」されている。そこで、災害等が発生した際の対応についてはあらかじめ定めて備える必要がある。

そのため、行政をはじめ関係機関を含めた体制を整備して、非常時に関わることができる人材を確保し、被災文化財に対する応急的な措置、文化財レスキュー、二次被害防止策などについて、今後、災害発生時の対応フローなどの整備を検討する。

①土砂災害・震災・火災時の対応

【来訪者の安全確保・避難】

災害発生直後は、来訪者を安全な場所に誘導し、人命最優先の行動をとる。そのために、避難経路・避難場所・避難誘導の手順はあらかじめ定めておく。

【情報共有】

その後、史跡に対して被害が生じた際には、自身の安全を確保した上で、被災状況の把握・連絡など、被害の有無の確認、被災箇所の写真を撮影するなど可能な限りの確かつ詳細な記録の作成を行い、河内長野市・大阪府を通じて、すみやかに文化庁へ報告する。

【二次被害防止】

情報共有と並行し、二次被害の防止対策として、まずは建造物の安全が確保されるまで立ち入らないことを徹底する。また美術工芸品などは一時的な保管場所を確保し、移動させる。

【復旧】

以上の作業にめどが立った段階で、復旧に際しては、史跡地およびその周辺地域におよぼす影響の可能性を考慮して、復旧計画を立案する。特に被害状況が大規模である場合、復旧の手法は整備委員会等で有識者による専門的見地からの助言・指導を受けつつ対応する必要がある。また、財源確保にむけた協議を行う。

【業務継続計画（BCP）】

災害発生時には、災害被害への対応を行うことと並行して、宗教法人本来としての役割を

継続的に果たしていく必要がある。

そこで、円滑かつ適切にその役割を果たすために、発災後の業務体制や手順等をあらかじめ段階的に定めおく、業務継続計画（BCP）の作成についても、今後は検討していく。

②盗難発生時の対応

盗難被害が発生した際には、すみやかに警察に連絡する。出入口や窓などが損壊している場合は、保全措置を講じて、立ち入りを制限する。

その後は、河内長野市・大阪府を通じて、すみやかに文化庁へ報告するとともに、盗難に関する情報提供を呼び掛けるなどして周知に努める。